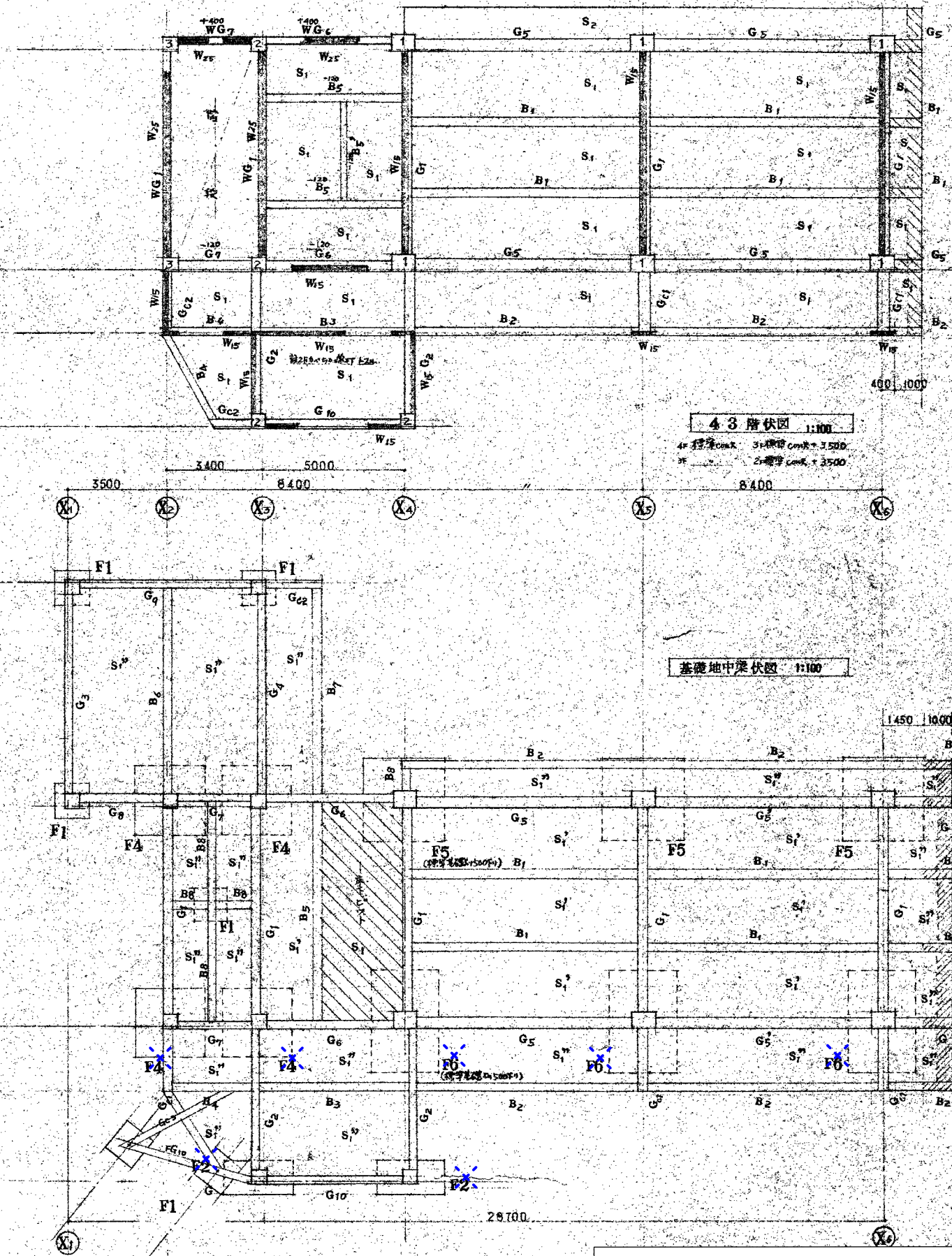
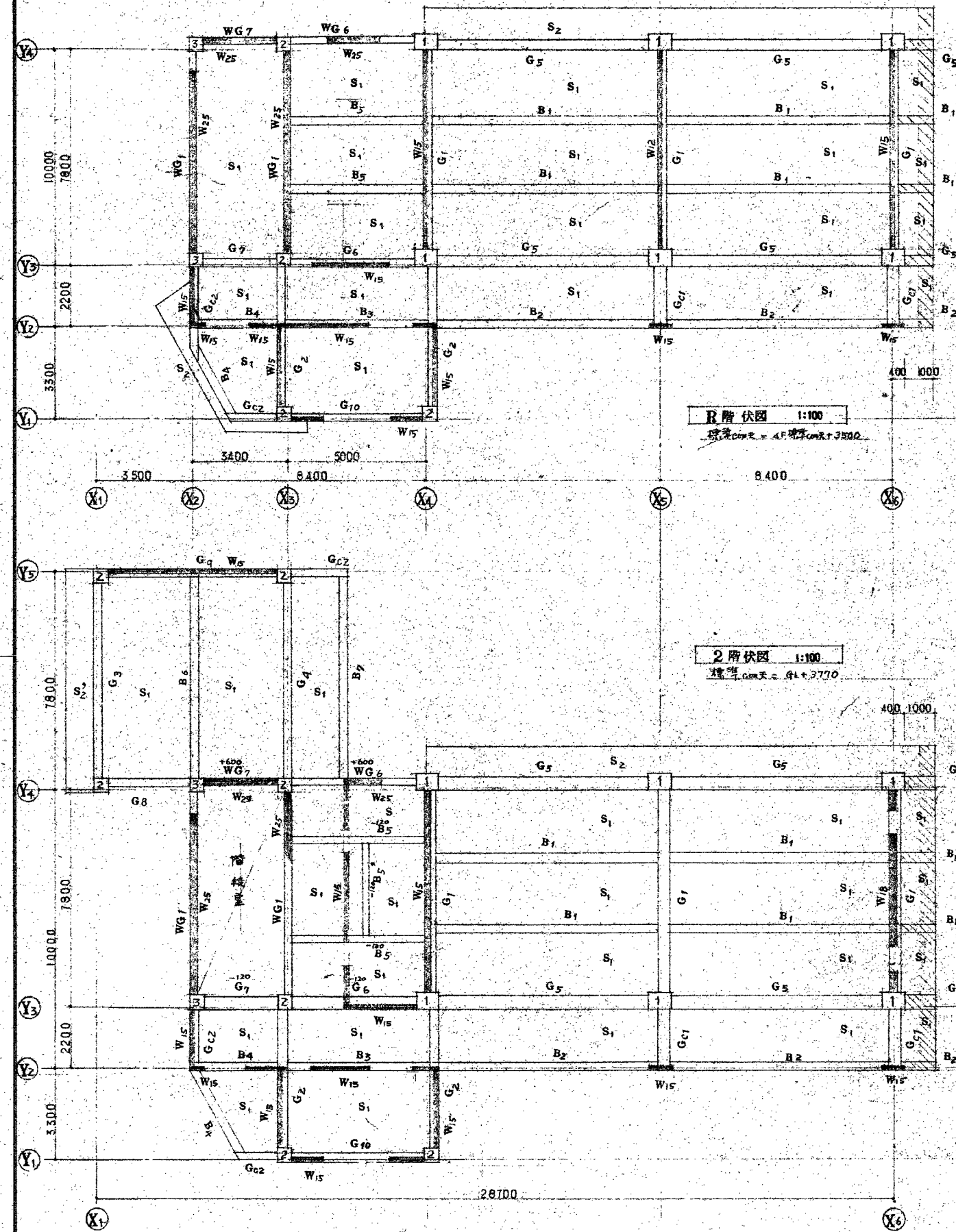




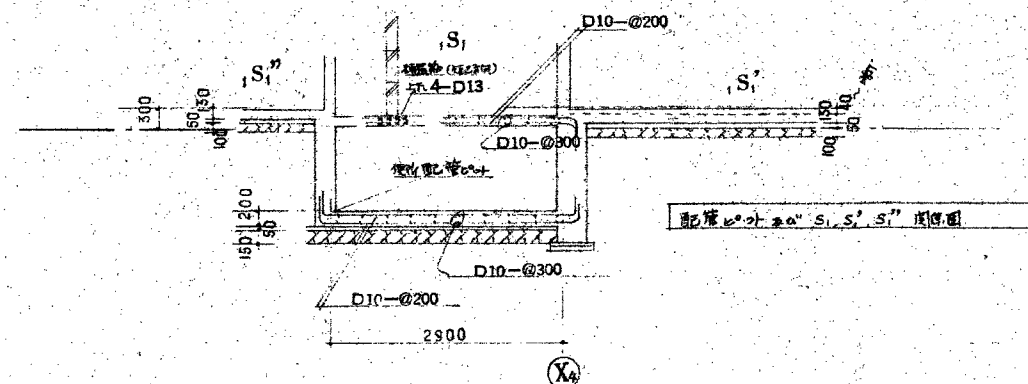
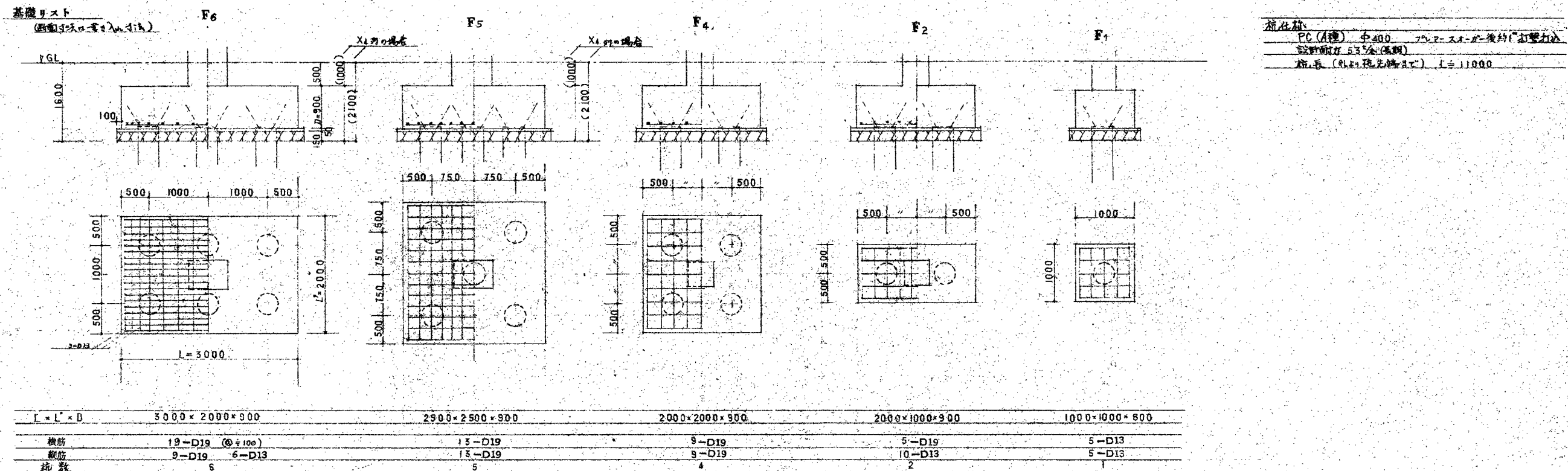
図示青囲み内容：解体対象
但し耐震補強工事等（東館-H17-S図、東館-H20-S図、東館-R4-S図）に伴う内容を優先すること

竣工図 ただし×印は存置する杭を示す

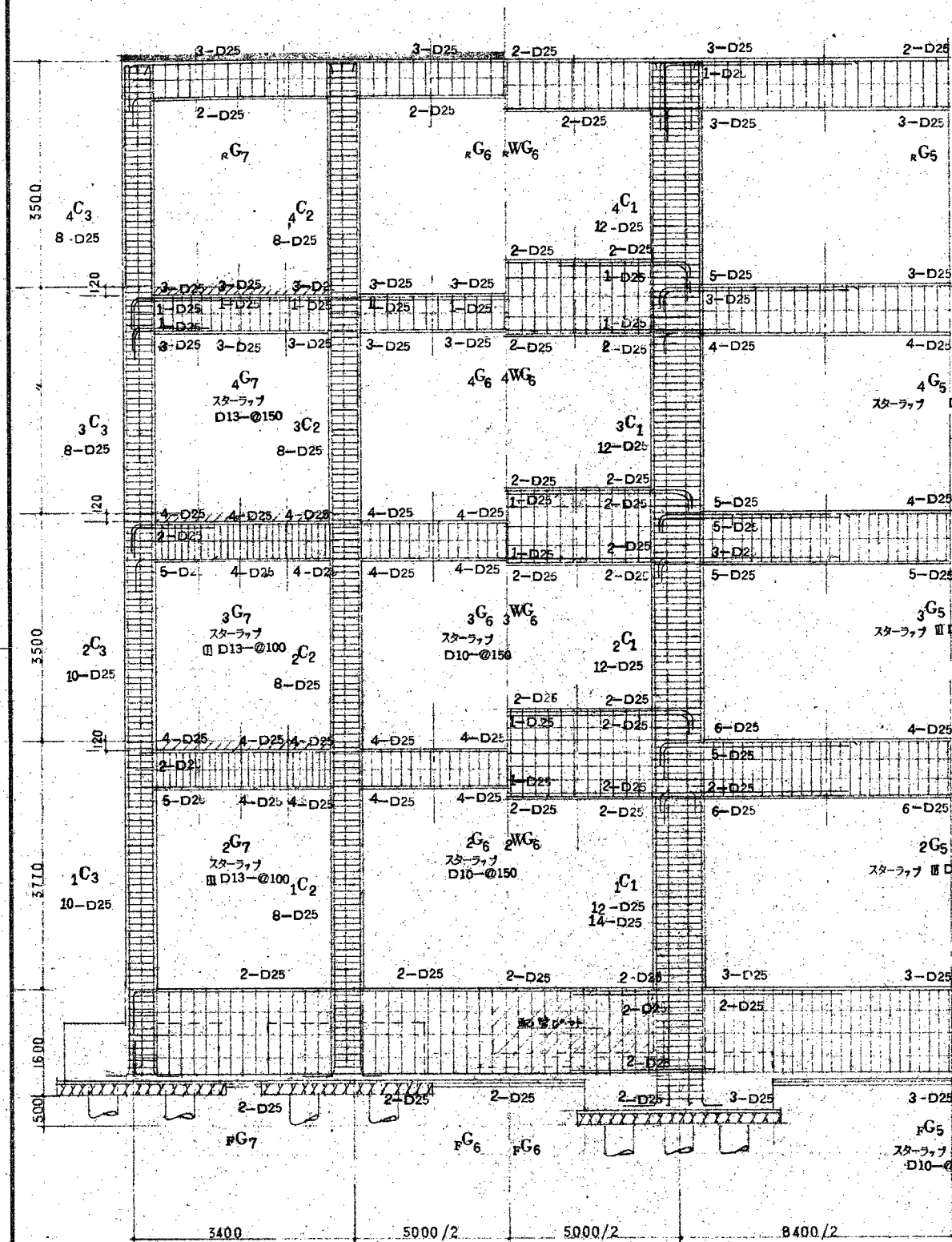
作成年月日 2026 5 29	備考	株式会社 類設計室 本社 〒532-0011 大阪府淀川区西中島4-3-2 類ビル 支社 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田明日ビルディング 大阪設計室 〒532-0011 大阪府淀川区西中島4-3-2 類ビル	一級建築士事務所 設計 一級建築士 大田登録第363087号 小熊 耕平	工事名称 生駒南中学校校舎等解体工事 図面名称 (東館)(S54)(現況撤去)2、3、4、R階伏図 基礎地中梁伏図	縮尺 A1:1:100 A3:1:200	図面NO. S-028
第1回				今村 達哉		
第2回				鈴木 康夫		
第3回				館柳 光佑		
第4回						

	G ₁		G _{C1}	G _{2,7,10}		G _{3,4,8,9}		G ₅		G ₆				G _{C2}	B _{1,2}		B ₃		B _{4,7,8}		B ₅		B ₆						
	端		中	端	中	端	中	端	中	端	中	端	中	端	中	端	中	端	中	端	中	端	中						
地中梁																													
断面	350 x 1400		350 x 1400	250 x 1400		300 x 1000		400 x 1400		400 x 1400				300 x 1400		300 x 1000		250 x 800		250 x 800		250 x 800		250 x 1200		300 x 800			
上筋 ㌞-D25	4		4	2		5		2		5		3		5		3		5		3		3		3-D19		4		3	
下筋 ㌞-D25	4		4	2		2		5		3		3		3		2		4		4		4		3-D19		3		3	
スタンプ	D10-@200		D13-@200	D10-@200		D10-@200		D10-@150		D10-@150		D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200	
腹筋	6-D13		6-D13	6-D13		4-D10		6-D13		6-D13		6-D13		6-D13		4-D10		2-D10		2-D10		2-D10		6-D13		2-D10		2-D10	

(断面尺寸以重入法)

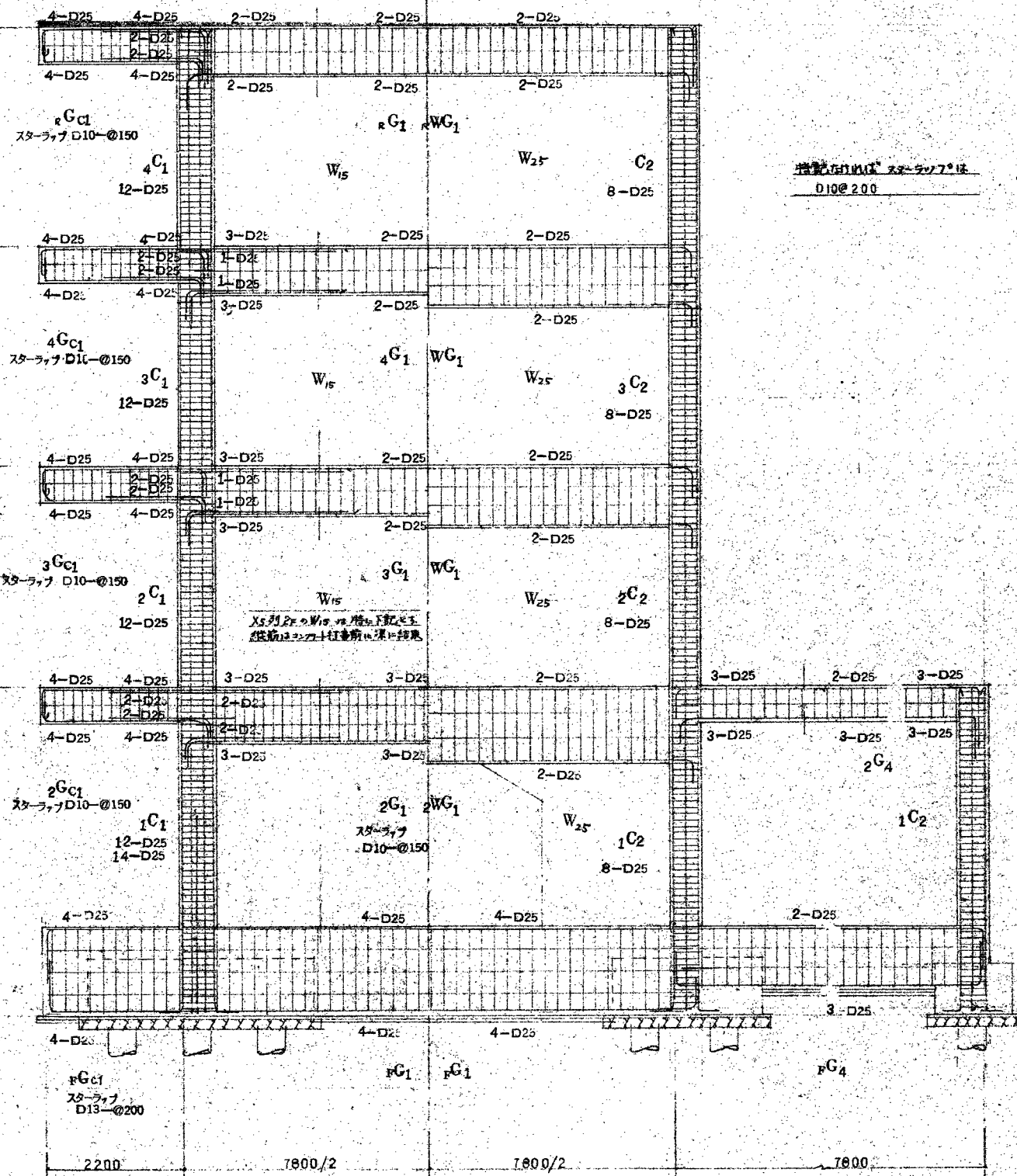


図示青囲み内容：解体対象
但し耐震補強工事等（東館-H17-S図、東館-H20-S図、東館-R4-S図）に伴う内容を優先すること



Y3 架構配筋図

Y4 架構配筋図



X5 架構配筋図

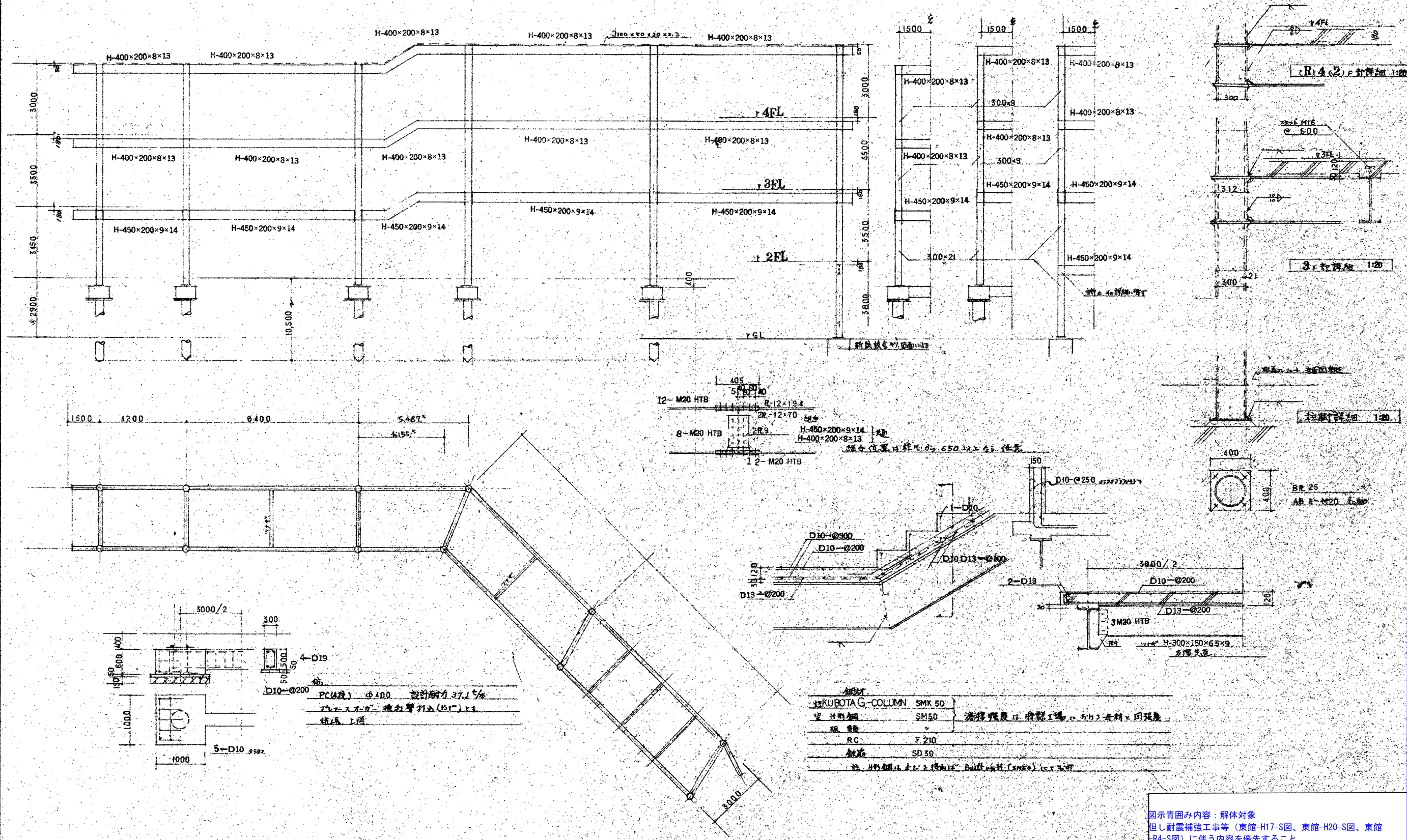
X3 架構配筋図

図示青囲み内容：解体対象
但し耐震補強工事等（東館-H17-S図、東館-H20-S図、東館-R4-S図）に伴う内容を優先すること

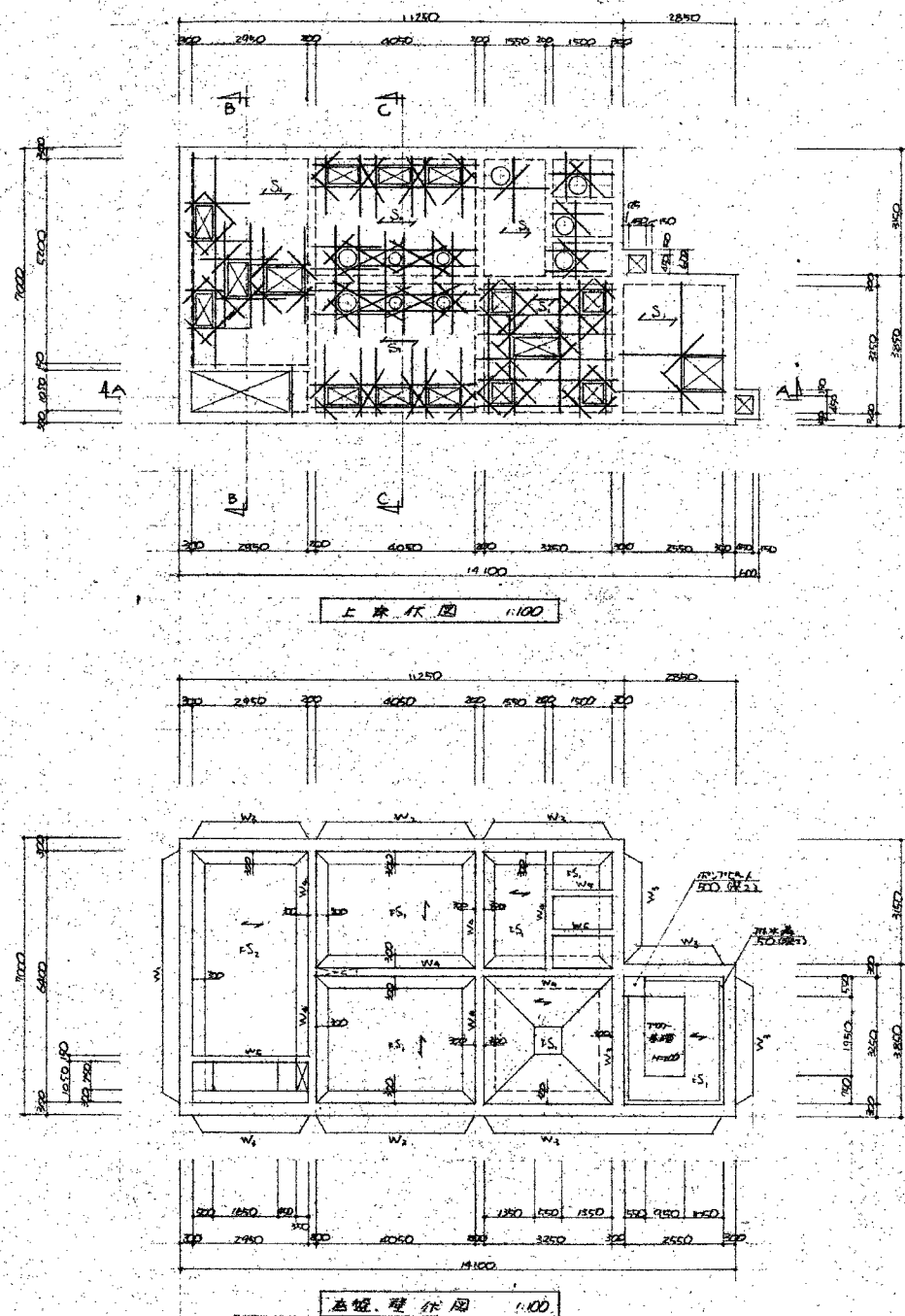
竣工図

図面 NO.

S-032

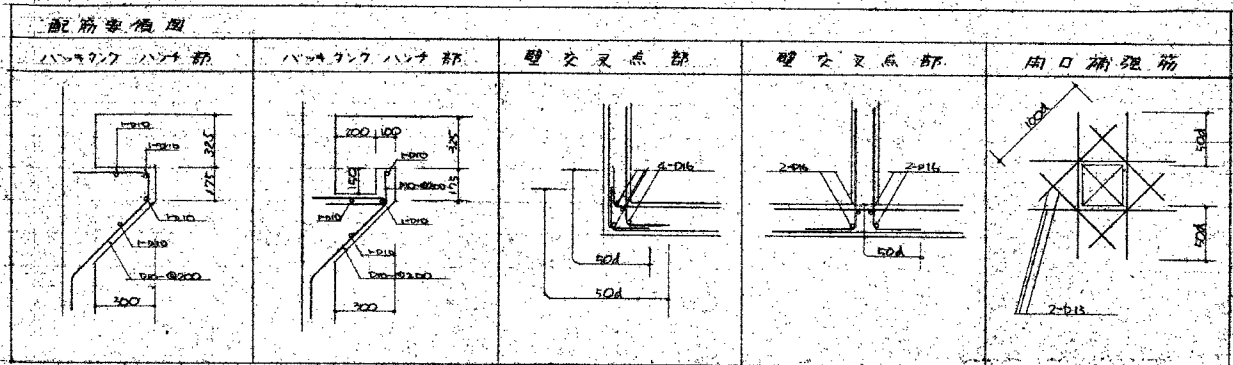


図示青囲み内容：解体対象
但し耐震補強工事等（東館-H17-S図、東館-H20-S図、東館-R4-S図）に伴う内容を優先すること



特記事項		
a) 使用材料	コンクリート	$f_c = 210 \text{ N/mm}^2$
	鉄筋	S50C
b) 鉄筋定着	定着継手	30d
	端部定着	50d
c) 鉄筋断り	互に接しない部分	
	上床、内壁	30%
d) その他	互に接する部分	
	外壁、2階	50%

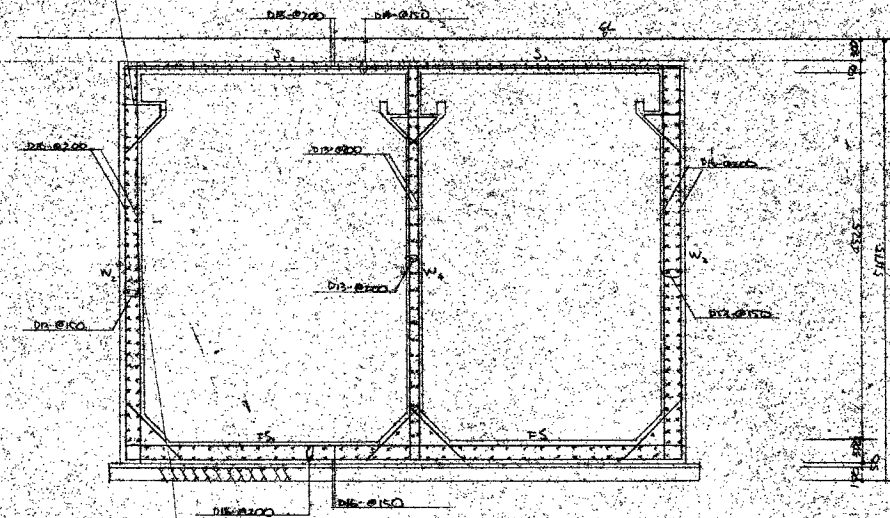
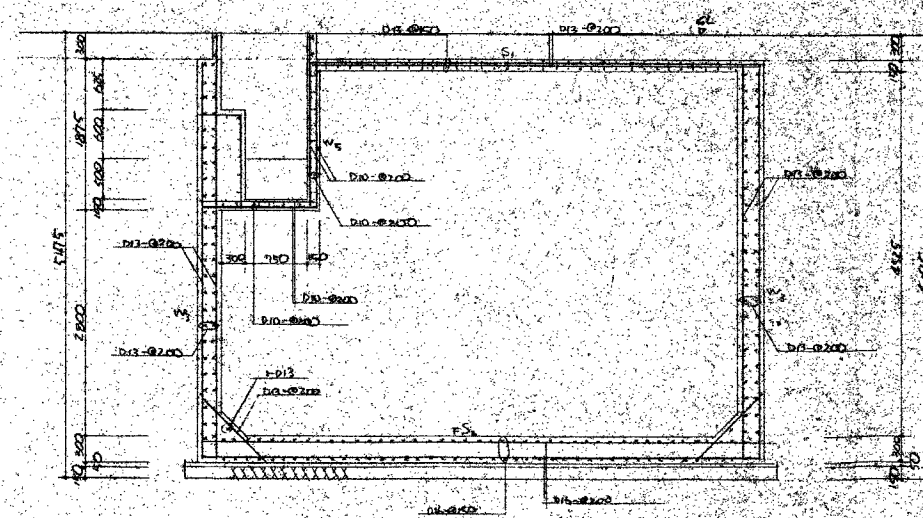
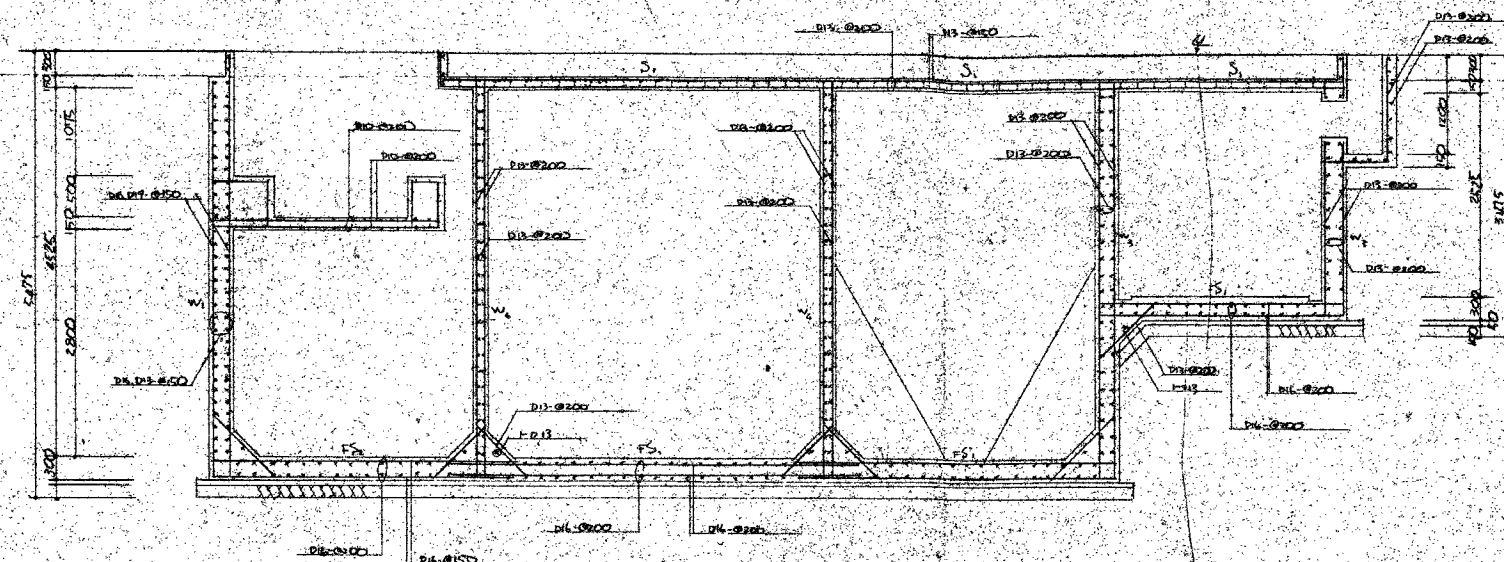
→は主筋方向を示す。
開口補強筋 2-D13
記入の鉄筋記号については、断面配筋図を参照



配筋リスト		
床版リスト		
記号	版厚	断面
S ₁	150	主筋 D14-@150 配筋 D12-@200 配筋 D12-@200
S ₂	300	主筋 D14-@200 配筋 D12-@100 配筋 D12-@200
S ₃	300	主筋 D14-@150 配筋 D12-@100 配筋 D12-@200

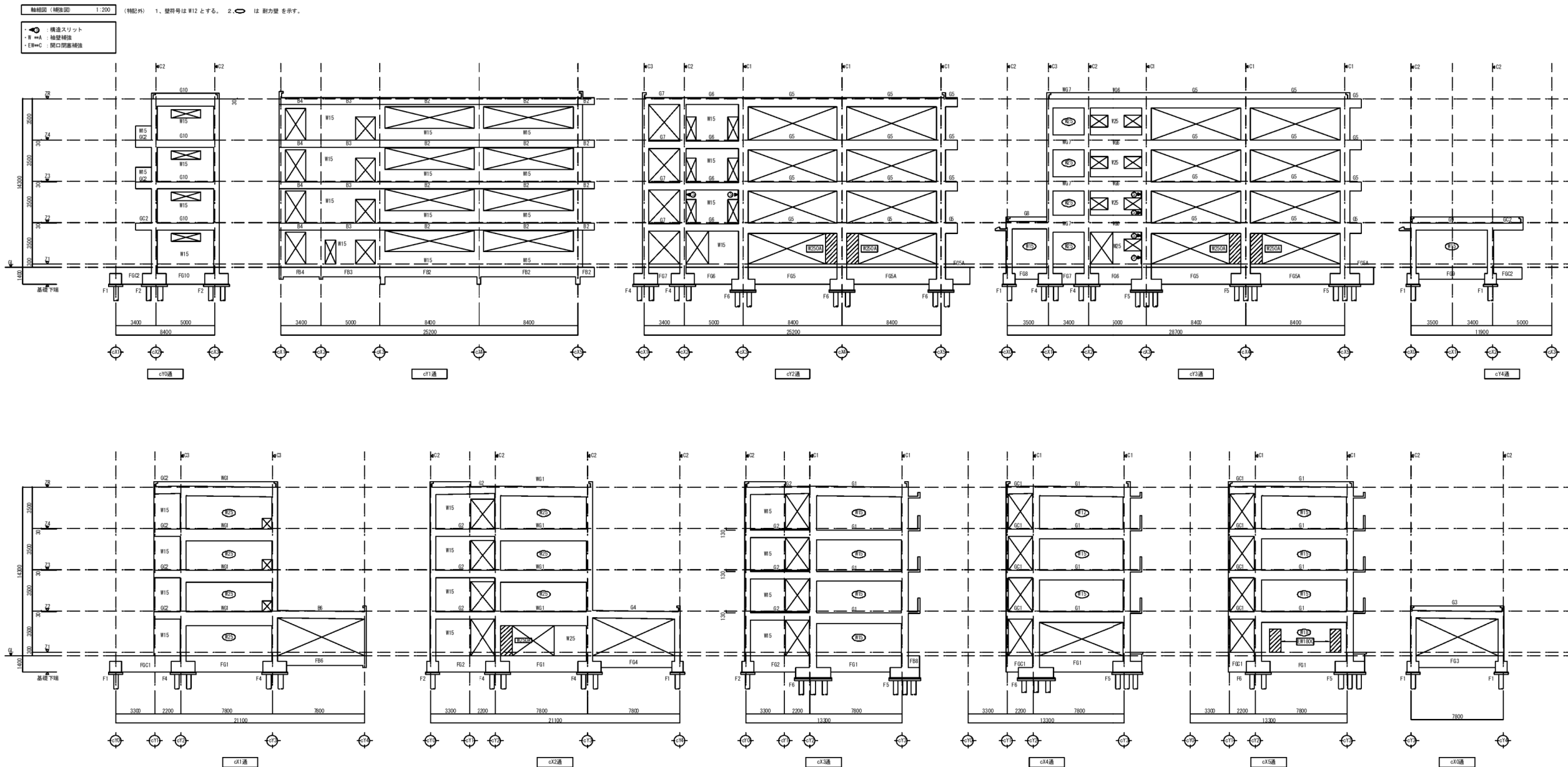
壁リスト					
記号	W ₁	W ₂	W ₃	W ₄	W ₅
壁厚	300	300	300	200	150
断面					
鉄筋	D14-@150	D14-@200	D13-@200	D13-@200	D10-@200
横筋	D13-@150	D13-@150	D13-@200	D13-@200	D10-@200
巾土筋	D10-@900	D10-@900	D10-@1000	D10-@1000	D10-@1000
開口補強筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13

図示青囲み内容：解体対象
但し耐震補強工事等（東館-H17-S図、東館-H20-S図、東館-R4-S図）に伴う内容を優先すること



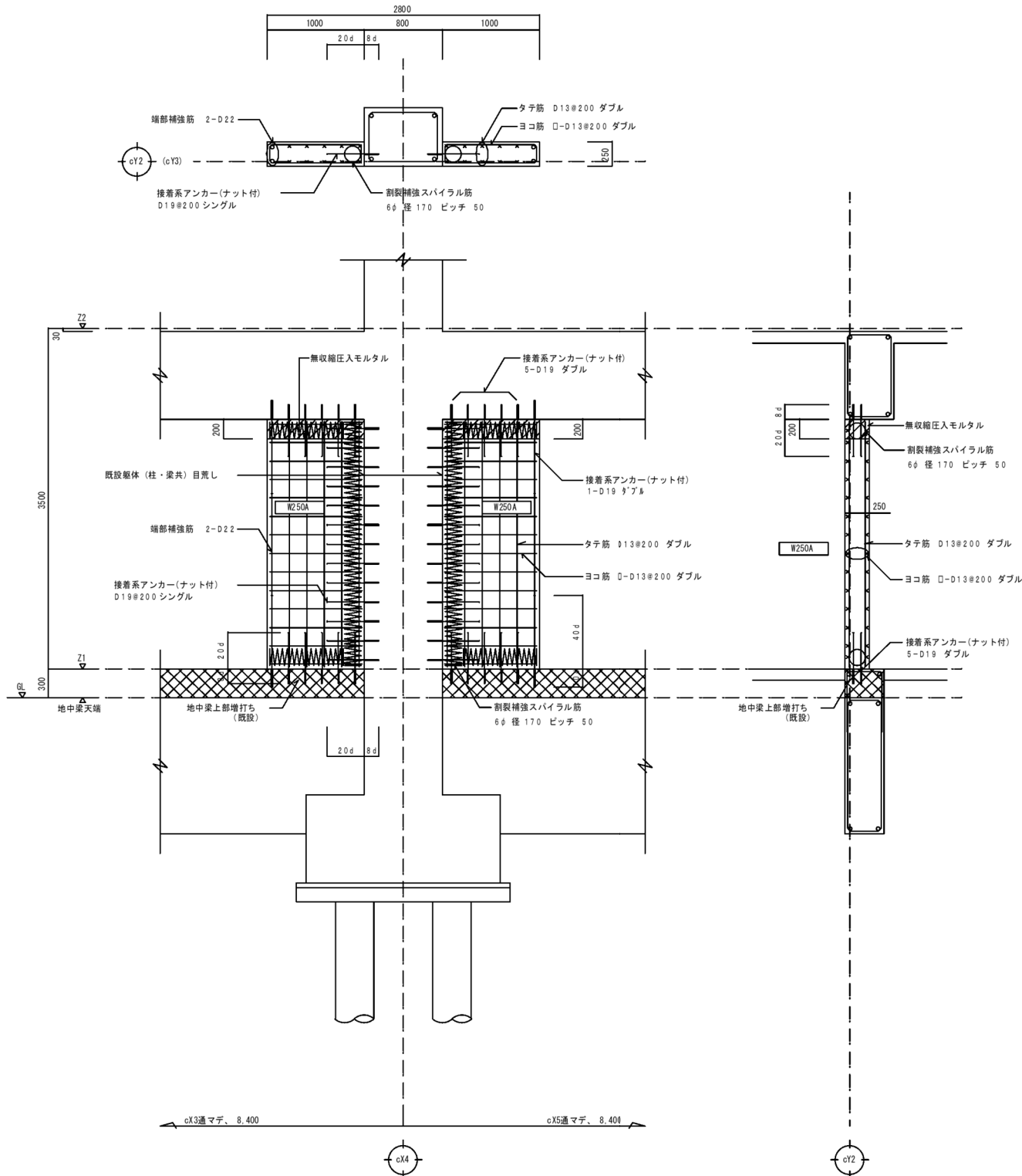
図示青囲み内容：解体対象
但し耐震補強工事等（東館-H17-S図、東館-H20-S図、東館-R4-S図）に伴う内容を優先すること

作成年月日		備 考		株式会社 類設計室				一級建築士事務所				設計				一級建築士 大臣登録第363087号				工事名称				生駒南中学校校舎等解体工事				図面NO.	
第 1 回	2026 5 29			本社 社 址 532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06-6305-2222				設 計				担当 小熊 耕平				今村 達哉				縮尺 A1:1:50 A3:1:100				S-036					
第 2 回				東京設計室 社 址 144-0052 東京都大田区蒲田5-3-8-3 蒲田朝日ビルディング 03-5713-1011												担 当										工面名称			
第 3 回				大阪設計室 社 址 532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06-6305-6666												今村 康夫										図面名称			
第 4 回																館柳 光佑										(東館) (S54) (現況撤去) 浄化槽配筋図 (2)			



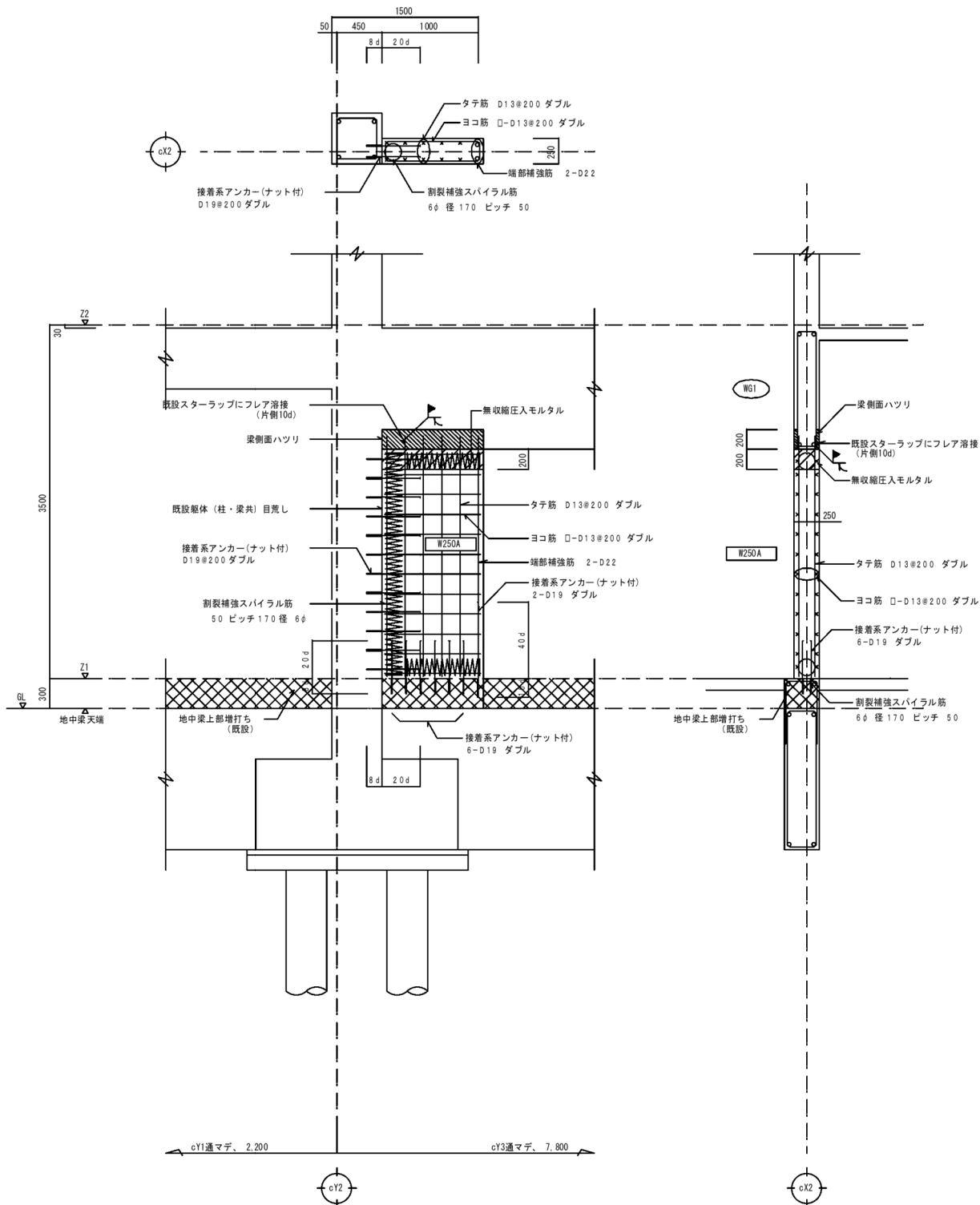
図示青囲み内容：解体対象

作成年月日			備 考			株式会社 類設計室			一級建築士事務所			一級建築士 大臣登録第363087号									今村 達哉			工事名称			生駒南中学校校舎等解体工事			図面NO									
第 1 回	2026	5	29				本社			社 址 532-0011 大阪市淀川区西中島 4-3-2 類ビル 06・6305・2222			設計						担当			鈴木 康夫			図面名称			縮尺 A1: 図示 A3: 図示/2			S-038								
第 2 回							東京設計室			〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-3-8 3 浦田朝日ビルディング 03・5713・1011			計									館柳 光佑			(東館) (H20) (現況撤去) 東館 軸組図 (補強図)														
第 3 回							大阪設計室			〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-3-2 類ビル 06・6305・6666			計			小熊 耕平																							
第 4 回																																							



W250A 袖壁補強配筋詳細図 1:30

※ 既設地中張り上部に増打ち補強のない場合は、
地中梁に接着系アンカーを定着する。



W250A 袖壁補強配筋詳細図 1:30

図示青囲み内容：解体対象

作成年月日		備考		設計		工事名称		図面NO.	
第1回	2026 5 29			一級建築士 大臣登録第363087号		生駒南中学校校舎等解体工事		S-040	
第2回				設計	小 熊 耕 平				
第3回									
第4回									

株式会社 大塚設計室

一級建築士事務所

本社 大阪府大阪市西成区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・2222
支社 大阪府大阪市東淀川区南島5-3-3 瀬田明日ビルディング 03・5713・1011
支社 大阪府大阪市西成区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・6666

今村 達哉

鈴木 康夫

館柳 光佑

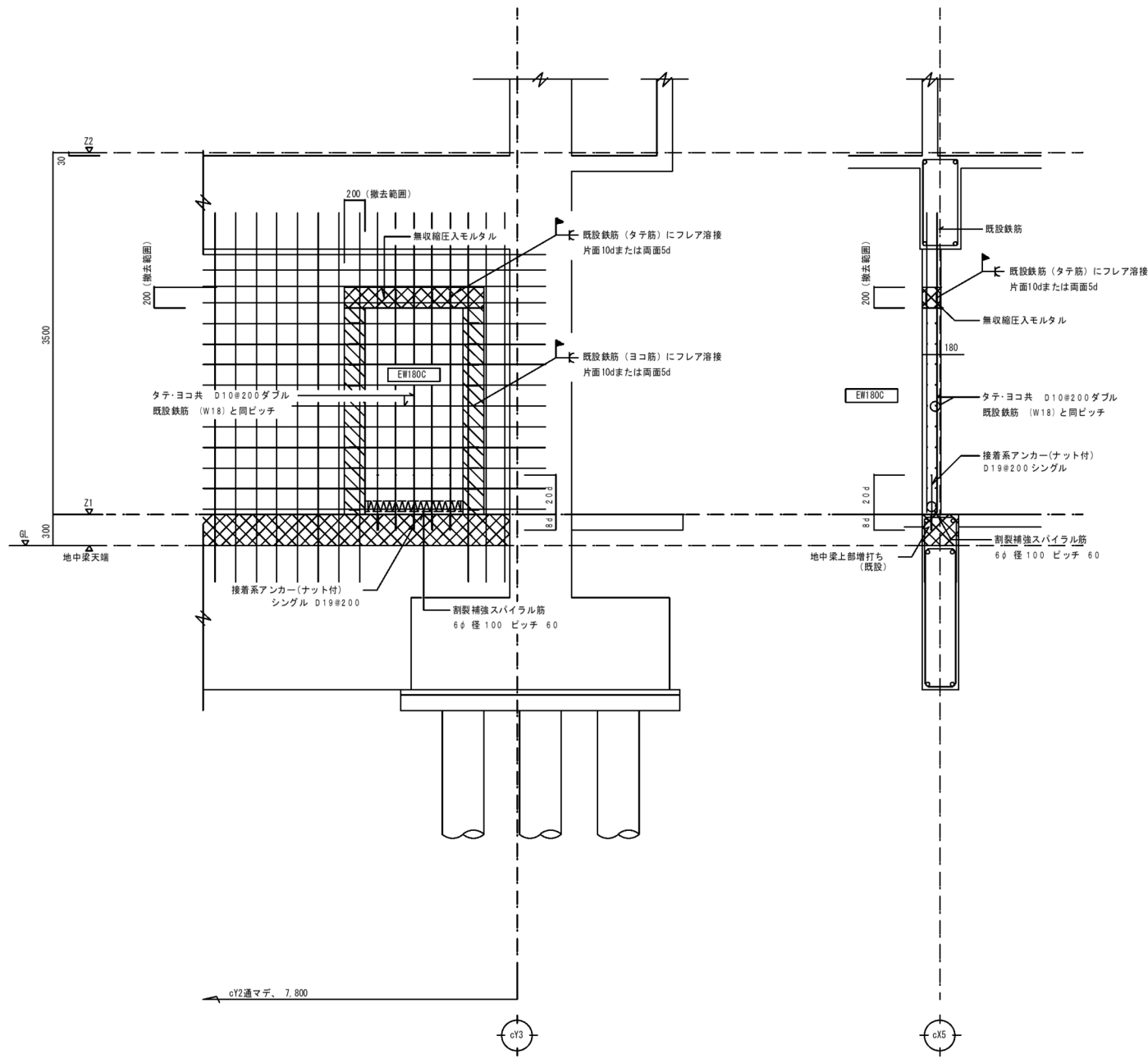
工事名称

図面名称

(東館) (H20) (現況撤去) 東館 増設壁補強詳細図 (2)

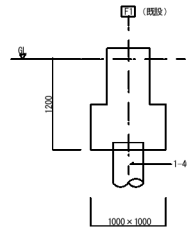
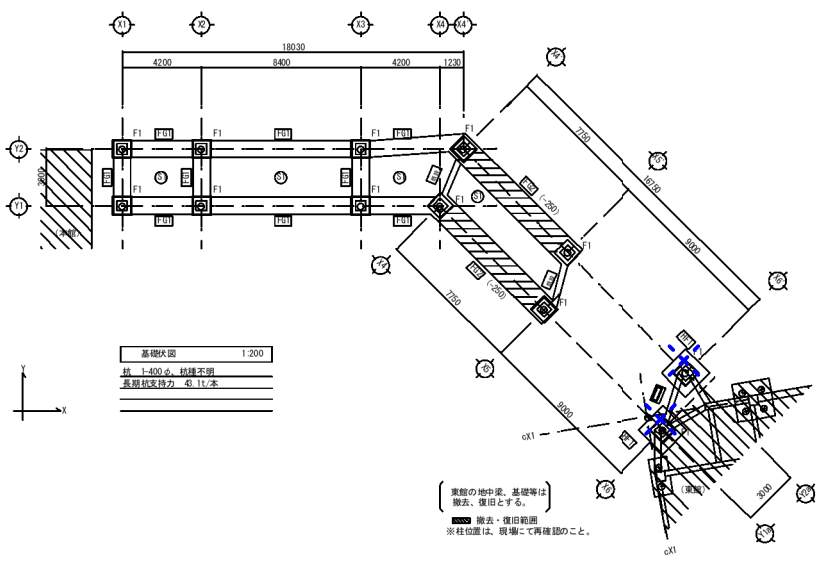
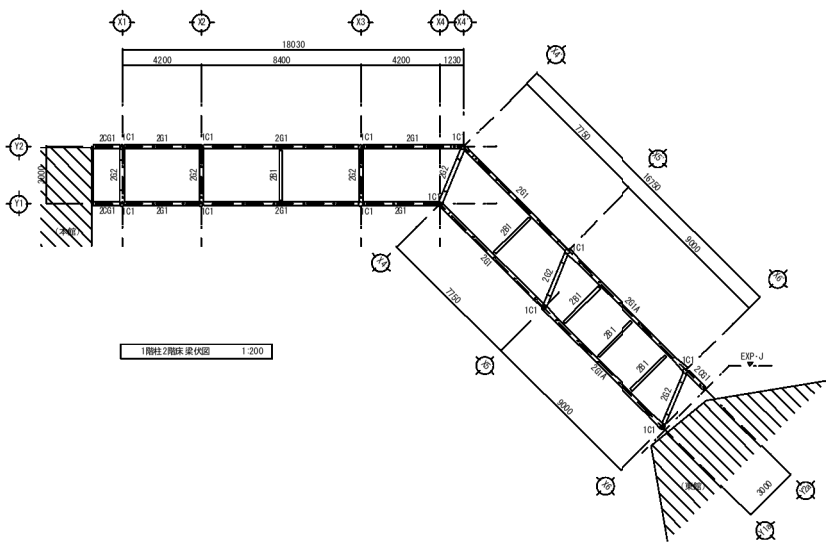
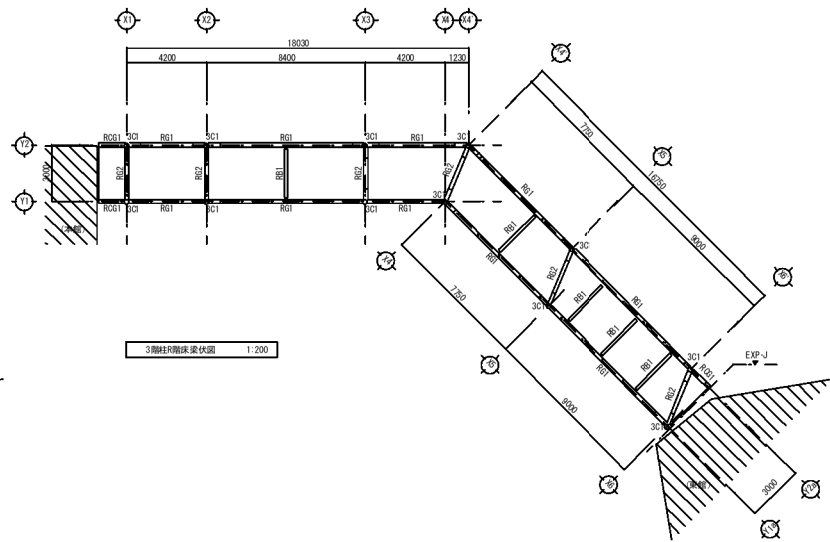
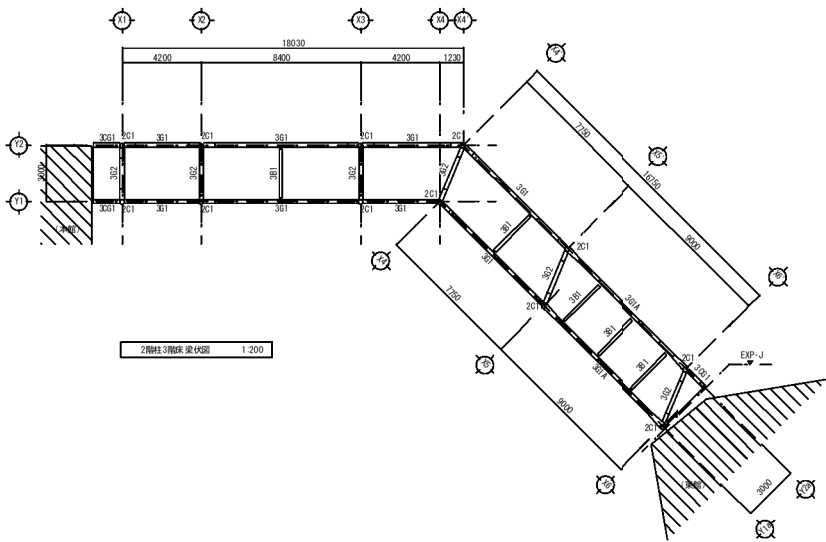
縮尺

A1: 図示
A3: 図示/2

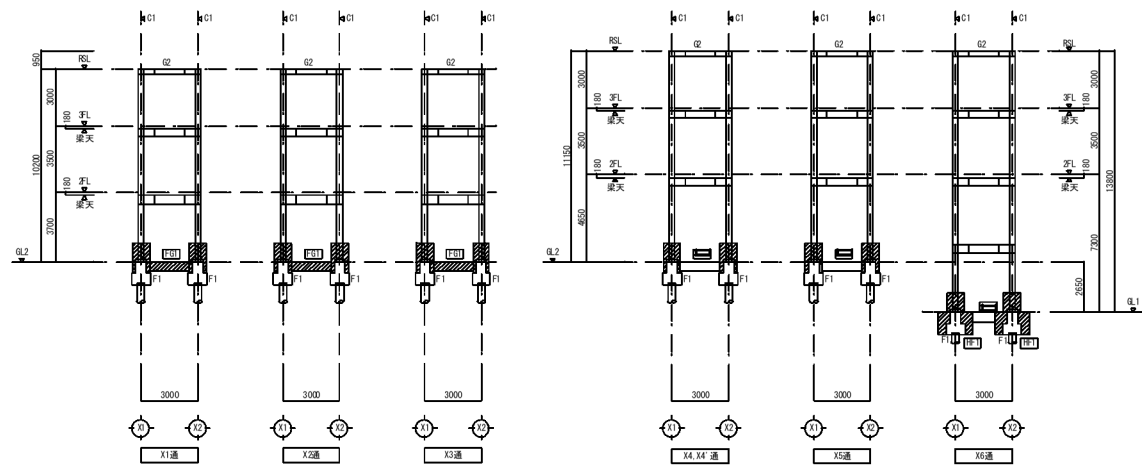
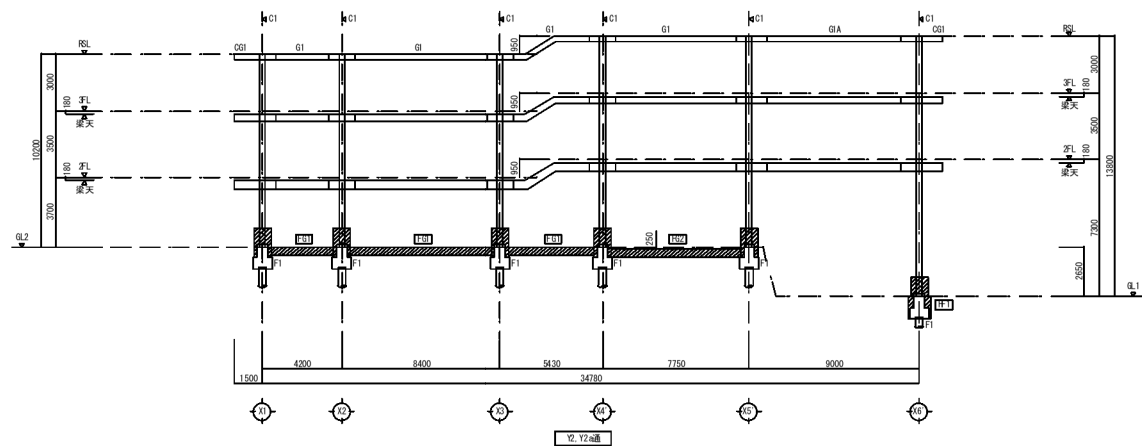
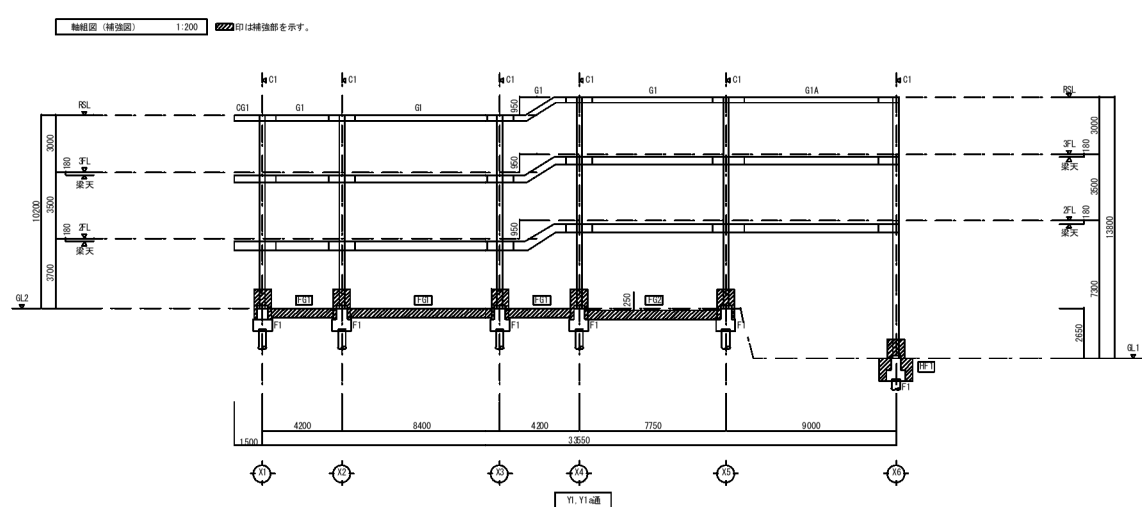


図示青囲み内容：解体対象

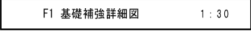
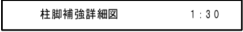
作成年月日			備 考			株式会社 大田設計室 本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 支社 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田明日ビルディング 大阪設計室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・2222 03・5713・1011 06・6305・6666	設計 一級建築士 大臣登録第363087号 小熊 耕平	担当 今村 達哉 鈴木 康夫 館柳 光佑	工事名称	生駒南中学校校舎等解体工事	図面NO. S-041
第 1 回	2026 5 29		図面名称	(東館) (H20) (現況撤去) 東館 増設壁補強詳細図 (3)	縮尺 A1: 図示 A3: 図示/2						
第 2 回											
第 3 回											
第 4 回											



鉄骨部材リスト		鋼材 S550, S5050
1C1	300φx21	
2C1	300φx19	
3C1	300φx9 (計量書より)	
2B1, 2B11	H-450x200x6x14	
2B2	H-450x200x6x14	
2B11	H-300x150x5.5x9.5 (H1B3-19φ F10F)	
2B12	H-450x200x6x14	
3B1	H-450x200x6x14	
3B11	H-450x200x6x14	
3B12	H-450x200x6x14	
3B13	H-300x150x5.5x9.5 (H1B3-19φ F10F)	
3B14	H-450x200x6x14	
3B15	H-300x150x5.5x9.5 (計量書より)	
3B16	H-450x200x6x14	
3B17	H-450x200x6x14	
3B18	H-450x200x6x14	
3B19	H-300x150x5.5x9.5 (H1B3-19φ F10F)	
3B20	H-450x200x6x14	
3B21	H-450x200x6x14	
3B22	H-450x200x6x14	
3B23	H-300x150x5.5x9.5 (H1B3-19φ F10F)	
3B24	H-450x200x6x14	
3B25	H-450x200x6x14	
3B26	H-450x200x6x14	
3B27	H-450x200x6x14	
3B28	H-450x200x6x14	
3B29	H-450x200x6x14	
3B30	H-450x200x6x14	
3B31	H-450x200x6x14	
3B32	H-450x200x6x14	
3B33	H-450x200x6x14	
3B34	H-450x200x6x14	
3B35	H-450x200x6x14	
3B36	H-450x200x6x14	
3B37	H-450x200x6x14	
3B38	H-450x200x6x14	
3B39	H-450x200x6x14	
3B40	H-450x200x6x14	
3B41	H-450x200x6x14	
3B42	H-450x200x6x14	
3B43	H-450x200x6x14	
3B44	H-450x200x6x14	
3B45	H-450x200x6x14	
3B46	H-450x200x6x14	
3B47	H-450x200x6x14	
3B48	H-450x200x6x14	
3B49	H-450x200x6x14	
3B50	H-450x200x6x14	
3B51	H-450x200x6x14	
3B52	H-450x200x6x14	
3B53	H-450x200x6x14	
3B54	H-450x200x6x14	
3B55	H-450x200x6x14	
3B56	H-450x200x6x14	
3B57	H-450x200x6x14	
3B58	H-450x200x6x14	
3B59	H-450x200x6x14	
3B60	H-450x200x6x14	
3B61	H-450x200x6x14	
3B62	H-450x200x6x14	
3B63	H-450x200x6x14	
3B64	H-450x200x6x14	
3B65	H-450x200x6x14	
3B66	H-450x200x6x14	
3B67	H-450x200x6x14	
3B68	H-450x200x6x14	
3B69	H-450x200x6x14	
3B70	H-450x200x6x14	
3B71	H-450x200x6x14	
3B72	H-450x200x6x14	
3B73	H-450x200x6x14	
3B74	H-450x200x6x14	
3B75	H-450x200x6x14	
3B76	H-450x200x6x14	
3B77	H-450x200x6x14	
3B78	H-450x200x6x14	
3B79	H-450x200x6x14	
3B80	H-450x200x6x14	
3B81	H-450x200x6x14	
3B82	H-450x200x6x14	
3B83	H-450x200x6x14	
3B84	H-450x200x6x14	
3B85	H-450x200x6x14	
3B86	H-450x200x6x14	
3B87	H-450x200x6x14	
3B88	H-450x200x6x14	
3B89	H-450x200x6x14	
3B90	H-450x200x6x14	
3B91	H-450x200x6x14	
3B92	H-450x200x6x14	
3B93	H-450x200x6x14	
3B94	H-450x200x6x14	
3B95	H-450x200x6x14	
3B96	H-450x200x6x14	
3B97	H-450x200x6x14	
3B98	H-450x200x6x14	
3B99	H-450x200x6x14	
3B100	H-450x200x6x14	



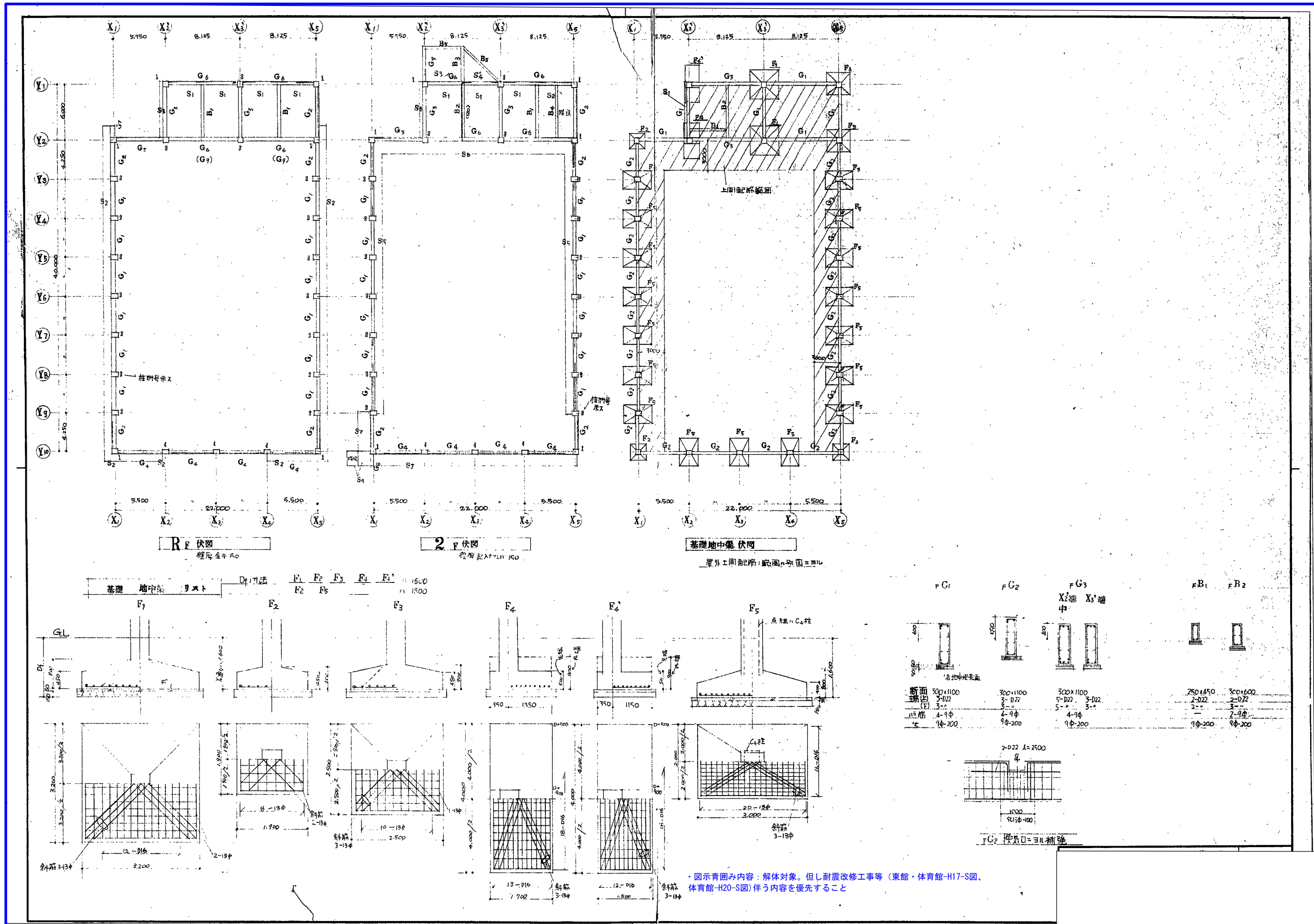
図示青囲み内容：解体対象
ただし×印は存置する杭を示す



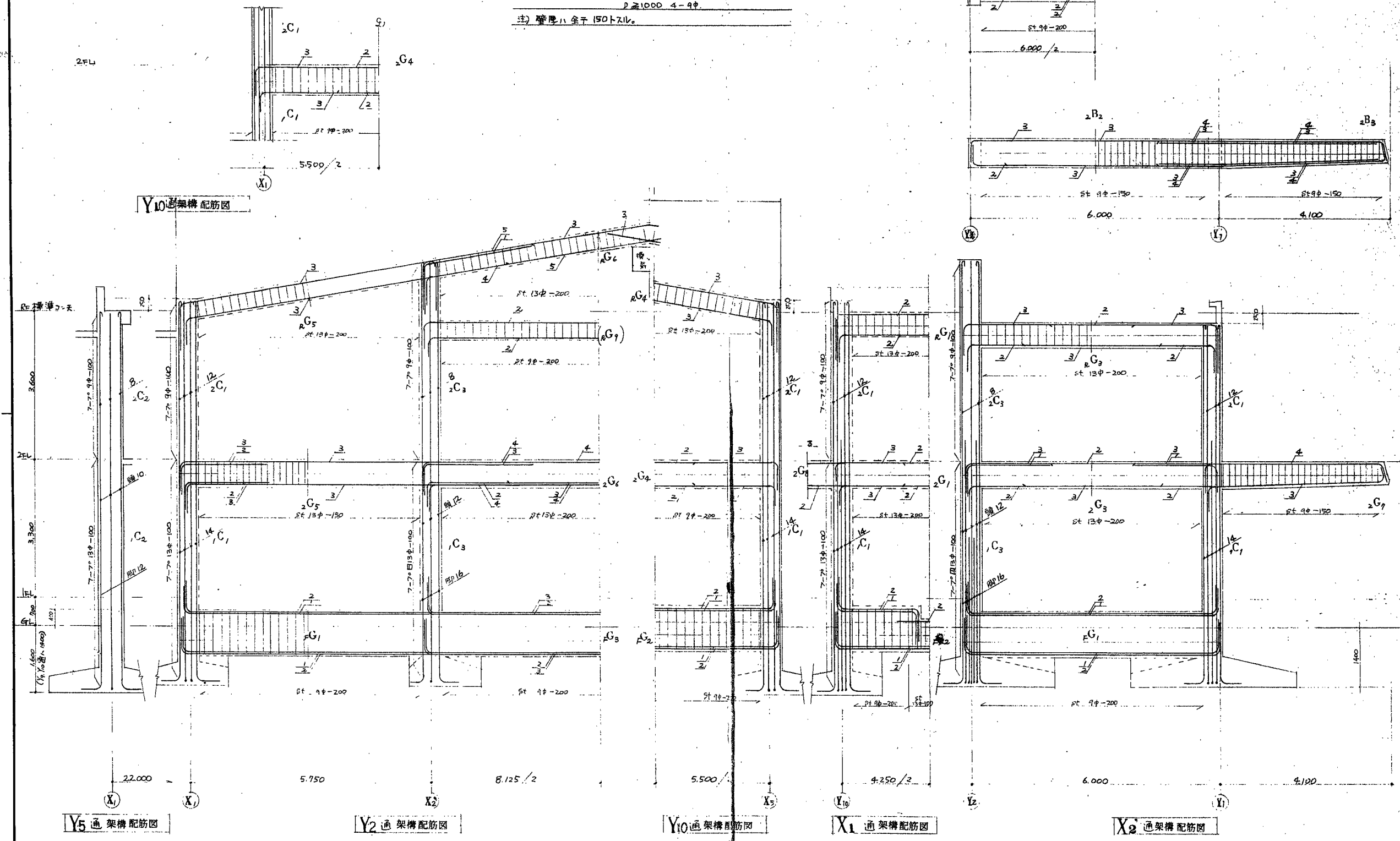
D22	440	180 以上	200	50	62	67
			250	67	74	80

新たに施工し直すことを原則とする。打音検査は上記引張試験に合格となったアンカーを叩いて、音及び感触をつかみこれと比較して検査する。

図示青囲み内容：解体対象



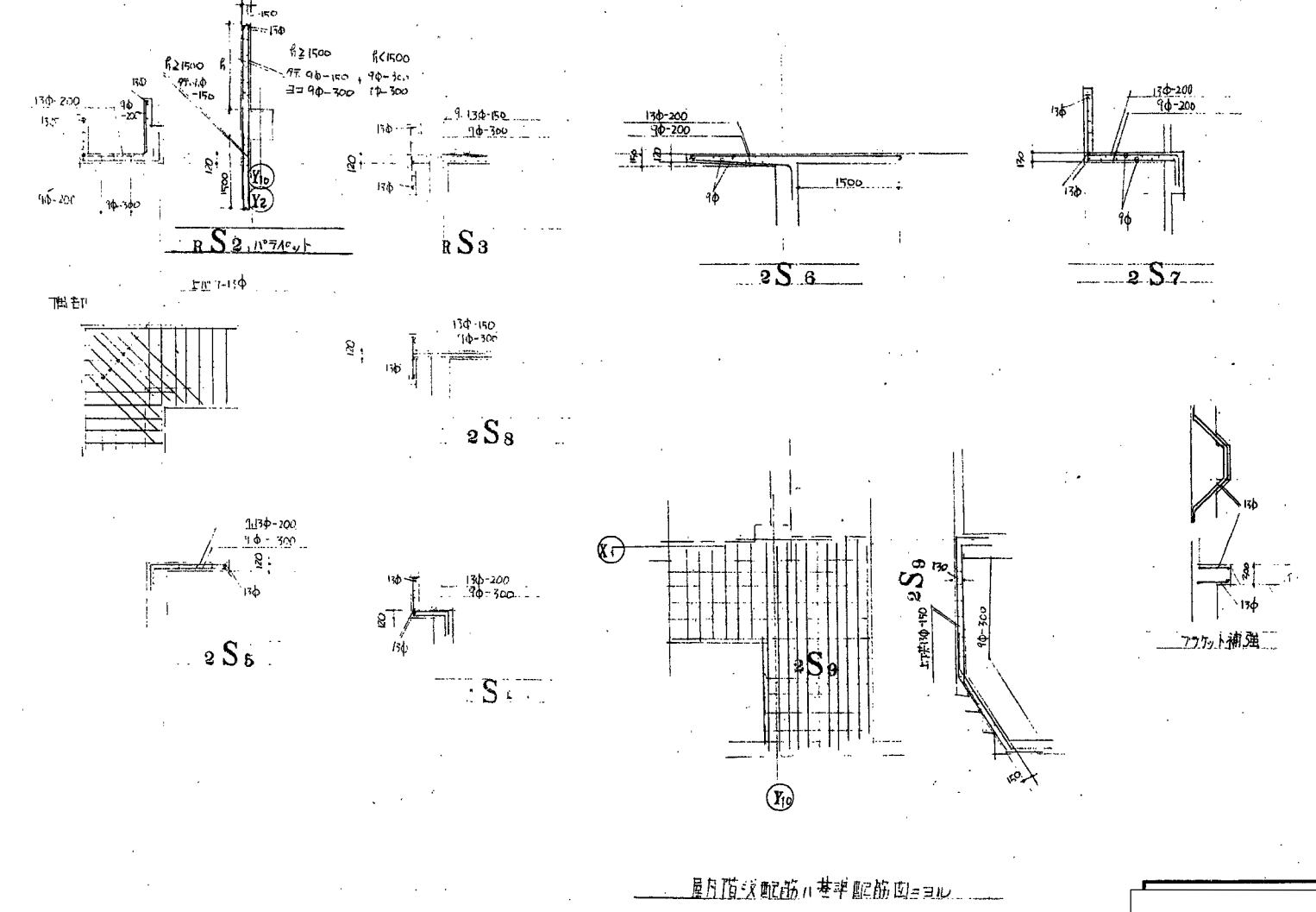
共通事項 特記アケレバ下記ニヨル
柱：主筋：D22 (SD30)---本数表示
5'イヤ：9中-600
梁：主筋：D22 (SD30)---本数表示
腹筋：D<600 不要 D≥600 2-9中
D≥1000 4-9中
注) 壁厚ハ全テ150トスル。



・図示青囲み内容：解体対象。但し耐震改修工事等（東館・体育館-H17-S図、体育館-H20-S図）伴う内容を優先すること

梁 スラブ リスト										柱 リスト									
注) 特記ナケレバ下記ニヨル 主筋: D 22 (SD30) 腹筋: ϕ<600 不巻 ϕ≥600 2-3φ										注) 特記ナケレバ下記ニヨル 主筋: D 22 (SD30) サイズ: 1φ-600									
	G _{1,2}	G ₃	G ₄	G ₅	G ₆	G ₇	G ₈	(G ₉)	B ₁	B ₂	B ₃	B ₄	B ₅		C ₁	C ₂	C ₃	C ₄	
	端 中	端 中	端 中	X1端 中 X2端	端 中				端 中	Y2端 中 Y1端									
R _F																			
断面	350×600	350×600	450×500	450×500	350×600	350×600	300×450	300×450	250×600						500×500	600×500	500×500	600×450	
主筋上	2	2	3	3	3	3	2	2	3	2					12	8	8	10	
主筋下	2	2	3	3	3	3	2	2	2	4					7-7φ	9φ-100	9φ-100	9φ-100	
腹筋	13φ-200	13φ-200	13φ-200	13φ-200	13φ-200	13φ-200	13φ-200	9φ-200	9φ-250										
2 _F																			
断面	300×700	300×700	300×700	350×700	350×700	350×700	300×600	300×600	300×600	350×700	250×600	300×550			500×500	600×500	500×500	600×450	
主筋上	3	4	3	5	7	4	3	3	3	3	7	3			14	10, 12	10, 12	12, 16	
主筋下	3	2	3	3	6	3	2	2	2	3	7	3			14	10, 12	10, 12	12, 16	
腹筋	13φ-200	13φ-200	9φ-200	13φ-150	13φ-200	9φ-150	9φ-200	9φ-200	9φ-150	9φ-150	9φ-200	9φ-200			13φ-100	13φ-100	13φ-100	13φ-100	

床版 リスト					床版配筋(要・簡・詳)型・基準配筋型ニヨル				
床版区画	版厚	主筋	配筋	備考					
R S1	4皿	120	F'	D'					
R S2,5	片持版	120	詳細型ニヨル						
2 S1	4皿	120	C	D					
2 S2	4皿	120	B	B					
2 S3	4皿	120	D'	D'					
2 S4	3皿	120	詳細型ニヨル						
2 S5,8	片持版	120							
2 S6	120 片持版								
2 S7	130								
2 S9									
1 S1	片持版	150	詳細型ニヨル						
土庫			9φ-250						



・図青囲み内容: 解体対象。但し耐震改修工事等 (東館・体育館-H17-S図、体育館-H20-S図) 伴う内容を優先すること

(1) 末端部

16φ以上ハ曲ゲ角度180°

18φ以下ハ曲ゲ角度135°
あばり筋、巻筋、市シメ

18φ以下ハ曲ゲ角度90°
スラブ筋、壁筋

(2) 中間部

スベテ、歪ゲ曲ゲ角度90°
深スラブ、底層

スベテ、歪ゲ曲ゲ角度90°以下
梁、スラブ、ベンド

(3) 継手一般

フック付の場合

フックなしの場合(異型鉄筋/バ)

圧接の場合

普通コンクリート

FR 15d (SR24, SD24)
FR 2d (SR30, SD30)
FR 25d (SD35, SD40)

軽量コンクリート

FR 2.5d (スベテ鉄筋)

スベテコンクリート

FR 6d (SR24, SD24)
FR 8d (SR30, SD30, SD35, SD40)

(4) S₁, S₂ / 値

	S ₁	S ₂
SR フック有	40 d	30 d
SD フック有	35 d	40 d
無	50 d	40 d

FR: 15d 以上ハ 25 以上
FR: 100 以上

[illegible]

Figure 1: Reinforcement details for a slab. (a) shows a cross-section of the slab with reinforcement bars (As, As', As2, As3) and dimensions (Lx, Ly, Lx2, Ly2, Lx3, Ly3). (b) shows a plan view of the slab with reinforcement bars (As, As', As2, As3) and dimensions (Lx, Ly, Lx2, Ly2, Lx3, Ly3). (c) shows a plan view of the slab with reinforcement bars (As, As', As2, As3) and dimensions (Lx, Ly, Lx2, Ly2, Lx3, Ly3).

棟梁配筋表

屋号	配筋(φ何コ)	南口端部(φ何コ計)
150未満	9φ@200 ランブル	上=13φ
150	9φ@300 φ4ランブル	2-13φ
150超	9φ@200 φランブル	2-18φ

類似梁、配筋

腰壁、トラス、パラベント等モ原則トシテ
上記ニヨル

南口部補強

立部：端部・配筋

片持梁階段上壁筋張

定着、継手長さ S₁
力(フ)學サ
G以下ニハ格スル部分ハ10増カン

[illegible]

梁リスト凡例

$b \times D \quad 450 \times 1000$

上筋	4(-25φ)
上・下筋	3(-)
下筋	2(-)
上・下筋	3(-)
主筋	9φ(300)
腰筋	(4-9φ)

柱リスト凡例

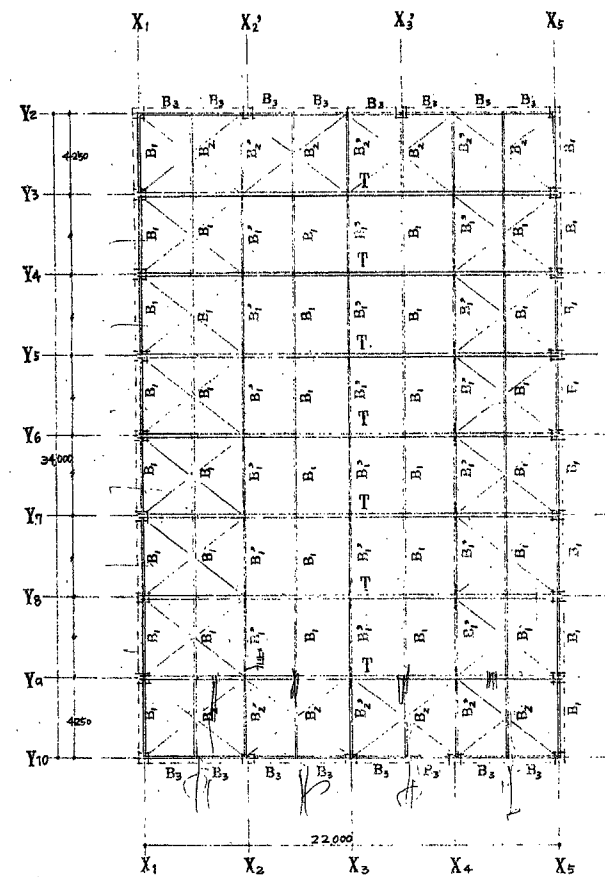
$A^1 \times B^1 \quad 500 \times 750$

主筋総数	10(-25φ)
H00P.	9φ(250)
D: a	9φ(750)

()印内数値は、断面リスト、註=特記ノ属々省略ス
 図形モ略スモッテ置

1. 各リスト詳細図=記載サレタイ事項ハコ、基準図=ヨル
2. 鉄筋、種別 SR 24 (9φ, 13φ
SD 30C D16 D22
3. コンクリート : C180
C 210
4. 打込(丸棒仕立) 構面断面以テ= +20打増スコト

・図示青囲み内容：解体対象。但し耐震改修工事等（東館・体育館-H17-S図、体育館-H20-S図）伴う内容を優先すること

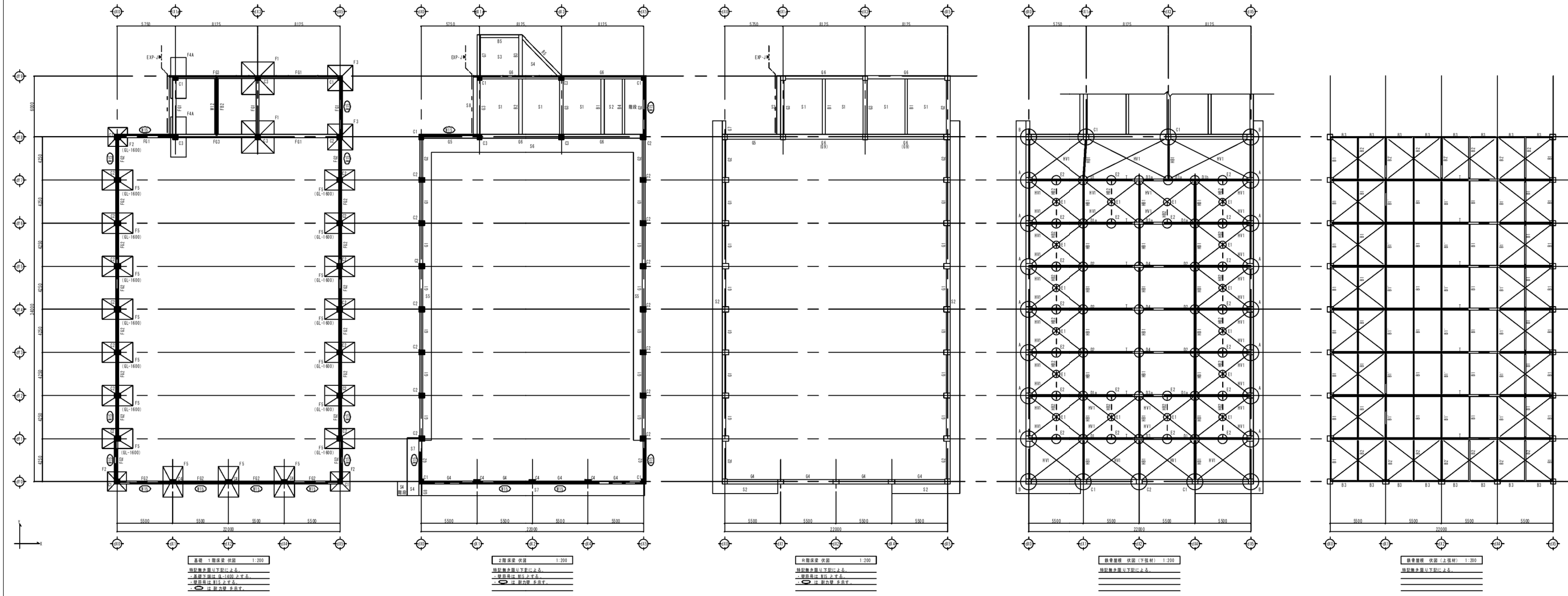


鍍骨尾根 伏向 $\frac{1}{2}00$
 尾根面 $\phi L-S L=50 \times 50 \times 6$ 取付 H.T.B-2 M16
 母 $C-100 \times 50 \times 20 \times 2.3$ @ 90° 敷付(裏面) JB150, Joints部 28130 x 2 $\rightarrow 190 \times 90 \times 7$
 B₁(12): H-100x100 x 6.8
 B₂(2): H-250x165 x 6.9
 B₃: C-200x90 x 8 x 19.5

共通事項

1. 鋼材
 型鋼 板鋼 SS41
 溝 板 鋼 SSC41
2. 塗装
 工場 = アクリル 電 頭 塗装
 特記なしは 全面 塩 化 内 腐 痛 腐 (脚 長 集 結 材 中 最 高 級 以 上) 2 回
3. バット
 工場 = 高力バット ハ 特記なし
 工場 = アクリル 溝 合 ハ バット トロ
 現場 = " 高力バット F8T トロ
 L=300×30×6 取付用 M16
 合 止 以 上 M20
4. 木 材
 中材 C=100×50×20±2.3 取付用 B13c
5. 板
 特記なしは 全 9mm 厚 以 上
6. 縦 引 合 板
 下 部 部 分 159×73 (=159×73) × 2.0
 2L₆ = 65×65×6 0.600
 2L₆ = 75×75×9 0.700
 2L₆ = 90×90×10 0.800
7. バット, H.T.B. 木 材 (特 記) ハ 以 上 之 準
 建築学会規準表 (標準値) = 30L
8. 鉄骨加工工 度 内 要 求 準 準
 現 寸 実 金 (仕 切 金 鋼 材 最 高 級 現 場 集 結 材 主 材 1/4 以 上)
 一 週 間 以 上 の 工 費 金 = シ 出 注 1 回

・図示青囲み内容：解体対象。但し耐震改修工事等（東館・体育館-H17-S図、体育館-H20-S図）伴う内容を優先すること



構造部材
柱1 6-150×150×7×10 G E-9 5-#16
柱2 20-100×50×20×2.3 G E-6 2-#16
梁1 L-65×65×6 G E-9 6-#16
筋コンクリート部 SGP部

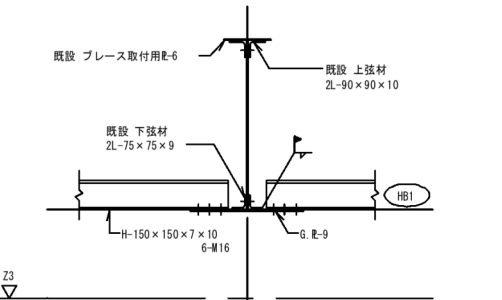
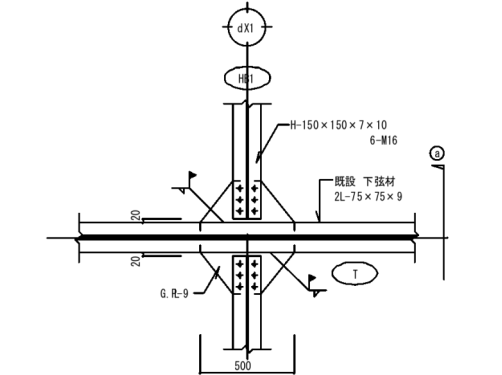
図示青囲み内容：解体対象

作成年月日		備 考	株式会社 類設計室 本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 大阪設計室 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-3-8-3 蒲田明日ビルディング 大阪設計室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	一級建築士事務所 一級建築士 大田登録第363087号 設計 小熊 耕平	一級建築士 大田登録第363087号	担当 今村 達哉 鈴木 康夫 館柳 光佑	工事名称	生駒南中学校校舎等解体工事	図面NO. S-049
第 1 回	2026 5 29	図面名称					(体育館)(H20)(現況撤去)体育館 伏図 (補強図)		
第 2 回		縮尺					A1:図示 A3:図示/2		
第 3 回									
第 4 回									

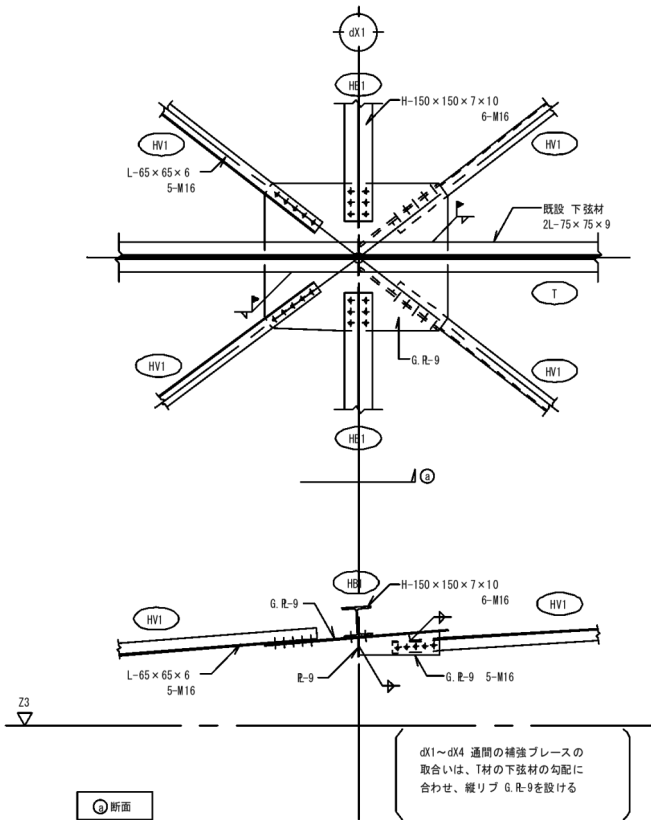
一般事項	
1. 使用鋼材	
(a) S S 4 0 0	規格品
(b) 高力ボルト	F 1 0 T
(c) 隅付きスタッド	J I S B 1 1 9 8 規格品
(d) アンカー筋	J I S G 3 1 1 2 3 種 S D 3 4 5 規格品
2. 使用鉄筋	
S D 2 9 5 A	規格品 D 1 6 以下
S D 3 4 5	規格品 D 1 9 以上
3. 使用コンクリート設計基準強度	
設計基準強度	$F_c=21N/mm^2$
4. 使用モルタル設計基準強度 (無収縮)	
設計基準強度	$F_m=30N/mm^2$ 以上
5. あと施工アンカー	
接着系アンカーとする。	
6. 注意事項	
補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水渡しを行う。	
7. 後打ちコンクリート	
普通コンクリートとして計画、施工する。	
8. 無収縮モルタル圧入	
鉄骨幹と躯体との間に圧入する。	
9. その他	
記載なき事項は「建築工事共通仕様書」による。	

接着系 アンカー筋径	L n (20 d)	L (8 d) (アンカー埋込み長さ)	ピッチ	※設計用引張強度 (参考)		
				$F_c=15$	$F_c=18$	$F_c=21$
D13	260	110 以上	100	1.7	1.9	2.0
			150	2.4	2.6	2.8
			150	3.1	3.4	3.6
D16	320	130 以上	200	3.9	4.2	4.5
			150	3.7	4.1	4.4
			200	4.7	5.2	5.6
D19	380	160 以上	200	5.6	6.2	6.7
			200	5.6	6.2	6.7
			250	6.7	7.4	8.0

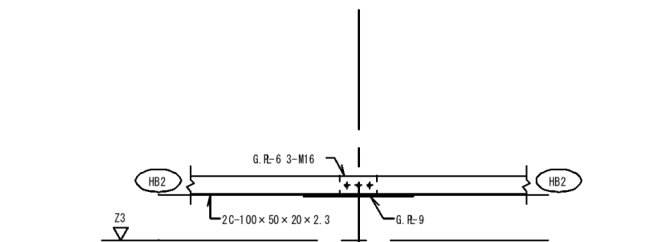
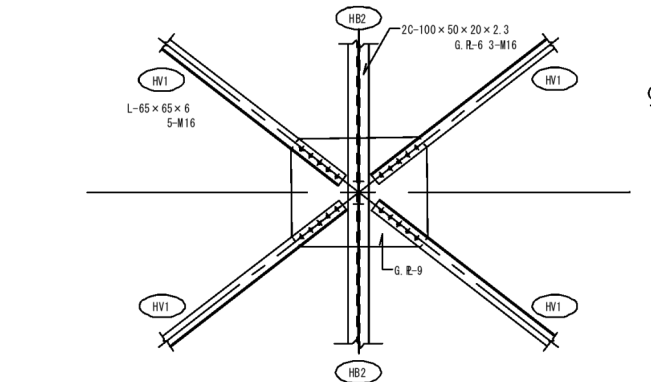
アンカー固着力試験
アンカーの固着力の検査は、全数を打音検査する。またあと施工アンカー協会（JCA A）の試験方法により施工箇所毎について3本かつ20以上引張試験を行う。引張試験は非破壊試験により、設計引張強度の80程度以上の荷重に対してアンカーが抜け出す等の過大な変形が生じなければ合格とする。検査のうち1本でも不合格のものがある場合は、全数の20%以上を再試験し、さらにその中に不合格のものがあれば全数を試験する。不合格となったものは新たに施工し直すことを原則とする。打音検査は上記引張試験に合格となったアンカーを叩いて、普及感振をつかみこれと比較して検査する。



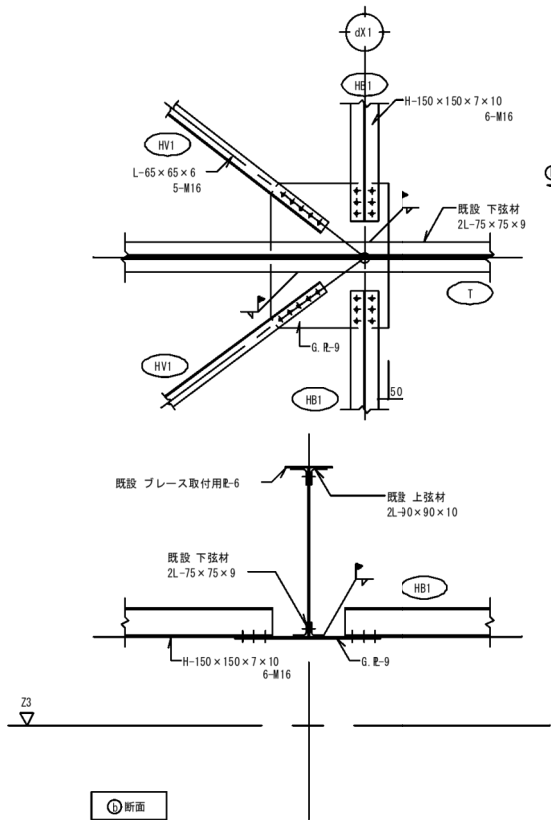
D4部 詳細図 1/20



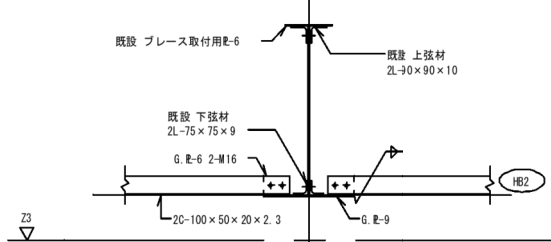
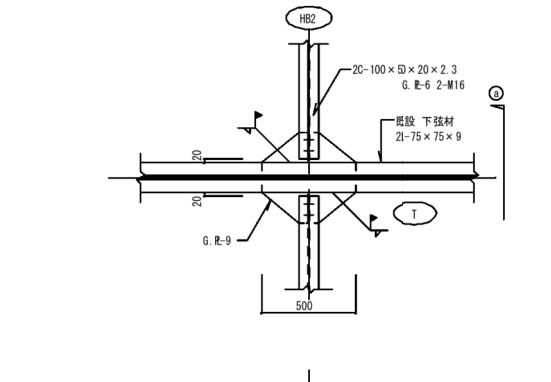
D1部 詳細図 1/20
D1a部 は補強ブレース 3本取付き
D1b部 は補強ブレース 2本取付き
ガゼットプレートは D1部 と同形状とする。



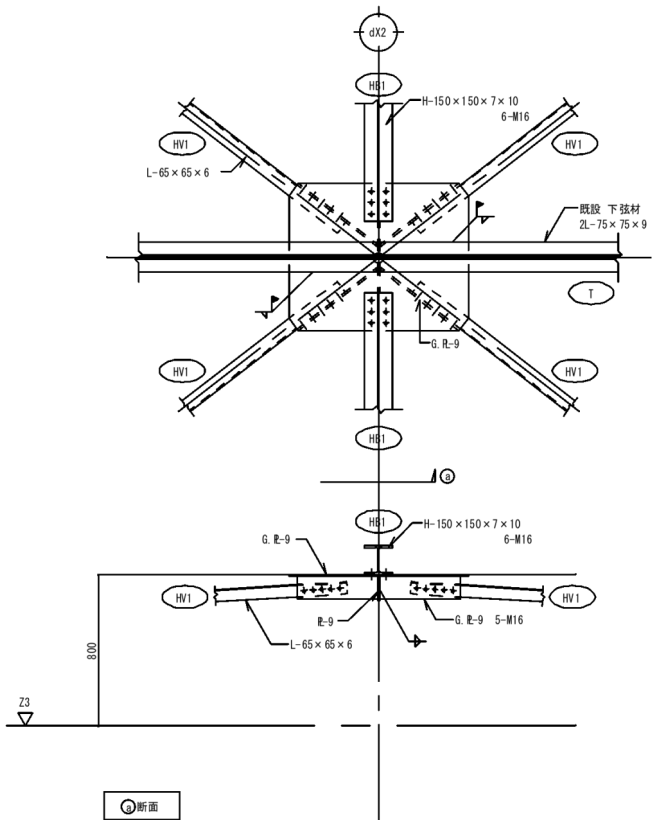
E1部 詳細図 1/20



D2部 詳細図 1/20

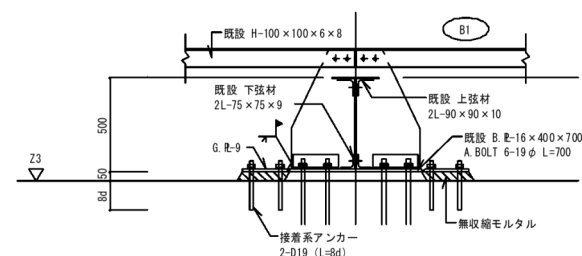
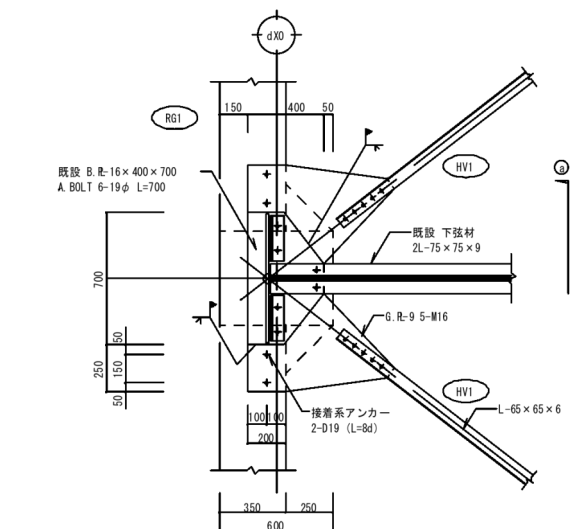


E2部 詳細図 1/20



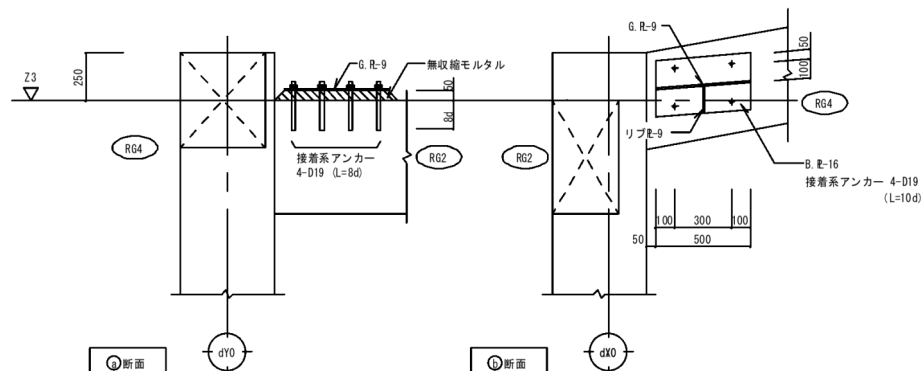
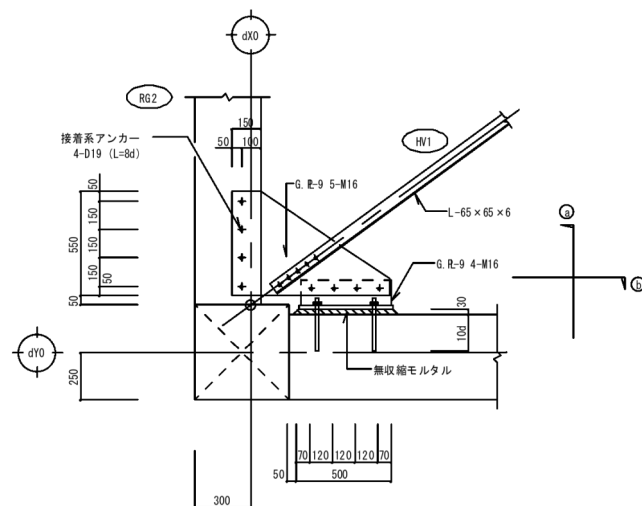
D3部 詳細図 1/20
D3a部 は補強ブレース 2本取付き
ガゼットプレートは D3部 と同形状とする。

図面青囲み内容：解体対象



③断面

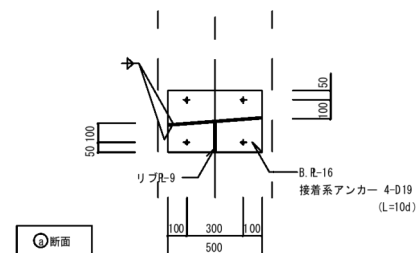
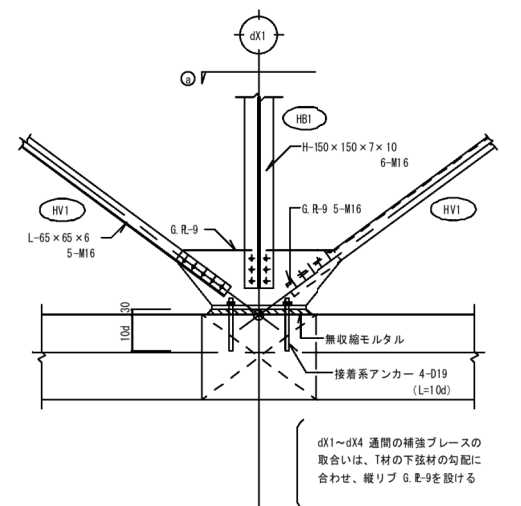
A部 詳細図 1/20



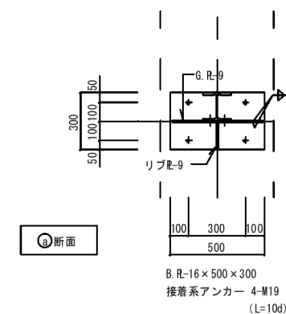
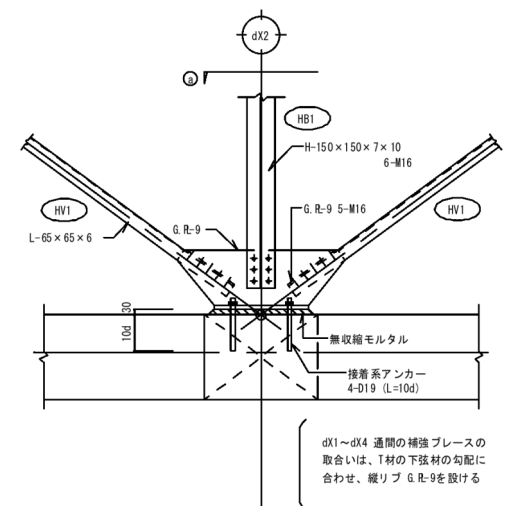
①断面

⑥断面

B部 詳細図 1/20



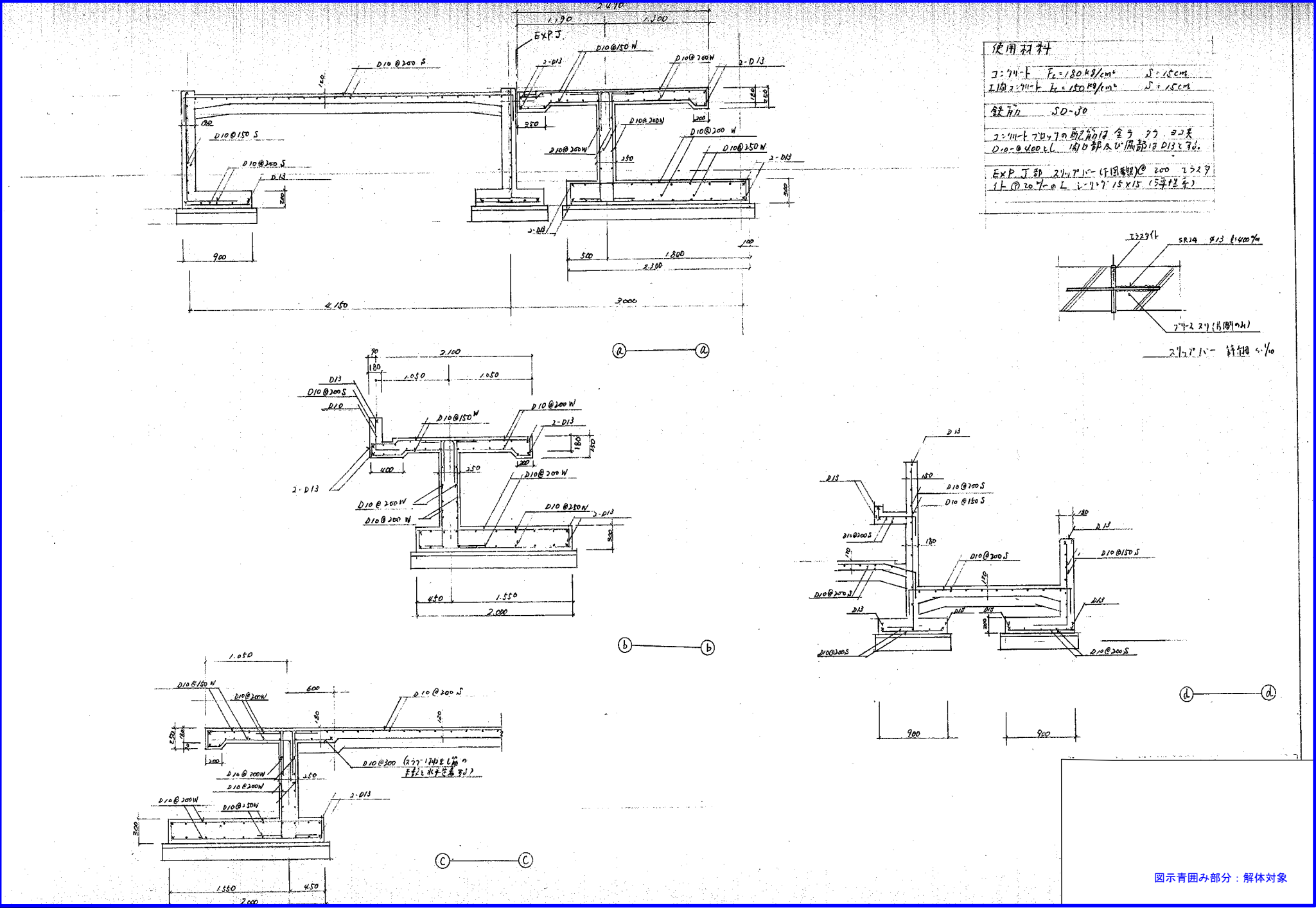
C1部 詳細図 1/20



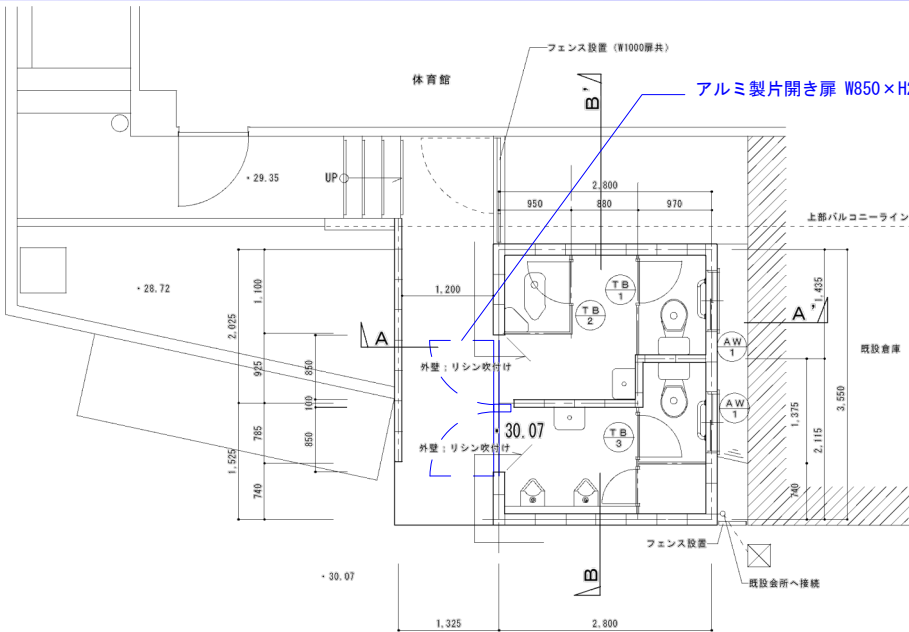
C2部 詳細図 1/20

図示青囲み内容：解体対象

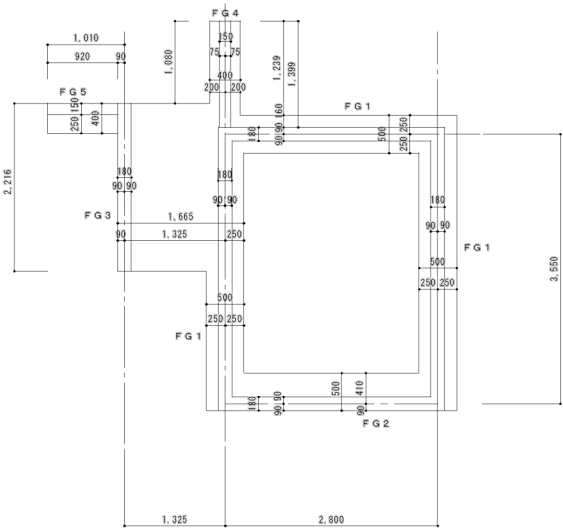
作成年月日		備考		株式会社 類設計室		一級建築士事務所		設計		一級建築士 大臣登録第363087号		担当		今村 達哉		工事名称		生駒南中学校校舎等解体工事		図面NO.	
第1回	2026 5 29			本社 社 532-0011		大阪市淀川区西中島 4-3-2		類ビル 06-6305-2222				鈴木 康夫				図面名称		(体育館) H20 (現況撤去) 体育館 鉄骨詳細図 (2)		縮尺	
第2回				東京設計室 社 144-0052		東京都大田区蒲田 5-3-8-3		演田朝日ビルディング 03-5713-1011				館柳 光佑								A1: 図示	
第3回				大阪設計室 社 532-0011		大阪市淀川区西中島 4-3-2		類ビル 06-6305-6666												A3: 図示/2	
第4回										小黒 耕平										S-052	



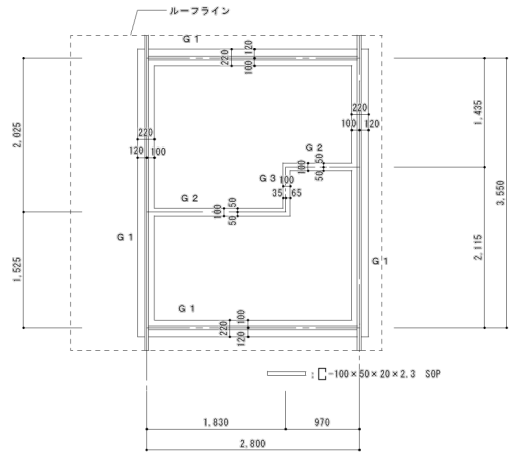
作成年月日		備 考		株式会社 類設計室 一級建築士事務所 本社 532-0011 大阪府大阪市西成区西中島4-3-2 類ビル 支社 144-0052 東京都大田区蒲田5-3-8-3 蒲田明日ビルディング 大阪設計室 532-0011 大阪府大阪市西成区西中島4-3-2 類ビル	設計 一級建築士 大臣登録第363087号 小熊 耕平	今村 達哉 鈴木 康夫 館柳 光佑	工事名称 生駒南中学校校舎等解体工事		図面NO. S-054
第 1 回	2026 5 29						図面名称 (プール) (S60) (現況撤去) 配筋図1		
第 2 回							縮尺 A1:1:30 A3:1:60		
第 3 回									
第 4 回									



平面図 S = 1 : 5 0



基礎伏図 S - 1 : 5 0



臥梁 S - 1 : 5 0



屋根伏図 S - 1 : 5 0

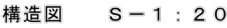
外部仕上表

屋 根	折板 厚 0 . 8
梁	コンクリート打放しの上リシン吹付
外 壁	防水コンクリートブロック t=150 化粧積の上リシン吹付
構	堅積：塩ビ製 VP60 軒積：塩ビ製 前高120

内部仕上表

部位	室名	女子便所	男子便所
床		土間コンクリートの上モルタルこて押さえ	土間コンクリートの上モルタルこて押さえ
巾 木		コンクリート打放しの上モルタルこて押さえ	コンクリート打放しの上モルタルこて押さえ
腰 壁		—	C B 積の上モルタルこて押さえ
壁		C B 化粧積み	C B 化粧積み
梁		コンクリート打放しのまま	コンクリート打放しのまま
天井		折板裏表しのまま	折板裏表しのまま

図示青囲み範囲：解体対象



作成年月日		備 考		株式会社 類設計室		一級建築士事務所		一級建築士 大臣登録第363087号		今村 達哉		工事名称		生駒南中学校校舎等解体工事		図面NO.	
第 1 回	2026 5 29			本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル		06-6305-2222				担当		図面名称		(屋外トイレ) (H13) (現況撤去) 構造図 階段詳細図		縮尺 A1:図示 A3:図示/2	
第 2 回				東京設計室 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-3-8-3 類ビル		03-5713-1011				鈴木 康夫						S-057	
第 3 回				大阪設計室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル		06-6305-6666				館柳 光佑							
第 4 回								小熊 耕平									